CINTIQ® companion



Professional Creative Tablet

ユーザーズガイド

製品の保証についてのお願い

保証規定をよくお読みになり、お買い上げから 1 年間は保証書を保管してください。保証書に販売店による記入がない場合は、直ちに販売店にお申し出になるか、ご購入時の領収書、納品書、レシート（またはその写し）を保証書に添付して保管してください。保証書に、販売店による記入も領収書、納品書、レシートの添付もない場合は、保証が無効になります。また、本製品の保証は、日本国内においてのみ有効です。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

商標について

Cintiq および Wacom は株式会社ワコムの登録商標です。

Adobe および Adobe Photoshop は、アドビシステムズ社の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Microsoft および Windows は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

その他の会社名、および製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。なお、本文中では「TM」「®」マークは表記しておりません。

著作権について

付属のタブレットドライバの著作権は、株式会社ワコムにあります。
タブレットドライバ、および本書の内容の一部または全部を、無断で複製、転載することは禁止されています。
タブレットドライバを含む本製品の仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

Cintiq Companion Hybrid
ユーザーズガイド
Version 1.0, Rev H0413

上記の年は、本書が作成された年を示しています。また、本製品が発売された日が、本書がユーザに公開された日です。

目次

本書について

本書は、Cintiq Companion の使い方や機能について説明しています。本書の情報は Windows 8 オペレーティングシステムに適用されます。

- 目次または索引で項目をクリックすると、その項目に移動することができます。
- 本書の中を移動するには、次のボタンやテキストをクリックします。

目次	目次のはじめへ移動します。	(ホーム)	表紙へ移動します。
索引	索引のはじめへ移動します。	(戻る) (進む)	ページ番号順に戻ったり、進んだりします。
		(前に表示)	見た順に表示を戻ります。

- 本書を拡大表示するには、PDF ビューアのズームインツールを使用してください。その他のツールの使用方法と本書の印刷については、ビューアアプリケーションのヘルプを参照してください。
- ダイアログボックス、コントロールパネルなどのオプションの名前は、「　」で囲んで表示しています。
- ワコムデスクトップセンターの「ユーザーズガイド」からアクセスできる「製品に関する重要なお知らせ」を参照してください。このガイドには、製品の安全上のご注意、仕様、使用許諾契約が含まれています。
- 本書にはオペレーティングシステムやソフトウェアに関する情報は記載していません。

ワコムは継続的に製品の改善に取り組んでおり、随時技術的な変更や改良を行っています。そのため、タブレットドライバおよび本機の仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

本機について

本機は電子ペンとタッチ入力の両方に対応した高性能モバイルコンピュータです。

本機は好みに合わせて使いやすいように設計されています。横画面、縦画面で使用したり、デスクやひざの上でフラットにして使用することができます。横画面では、付属のスタンドを使用して 3 つの異なる角度位置にセットすることもできます。描画またはスケッチでは最大 2048 段階の筆圧レベルに対応しており、滑らかで快適な描画を実現します。

本機は電池式の完全モバイルデバイスとしてご利用いただけます。電源につないで使用することも可能です。

本機では Windows 8 オペレーティングシステムが搭載されています。

機能

本機の機能は次の通りです。

- 高精度のペン入力
- マルチタッチ入力
- 2 つの背面スピーカー
- 2 つのマイク
- ボリュームコントロールボタン
- 自動回転切り替えスイッチ
- Web 会議に適した前面カメラ
- 静止画・動画撮影に適した背面カメラ
- 横画面での角度調整が可能な着脱式スタンド
- 2 つの USB ポート
- 映像出力用の Mini DisplayPort
- MicroSD カードスロット
- 8 GB RAM
- 内蔵 GPS
- Bluetooth 接続
- WiFi ネットワーク対応

各機能の位置については、本機の本体正面および本体背面・側面を参照してください。

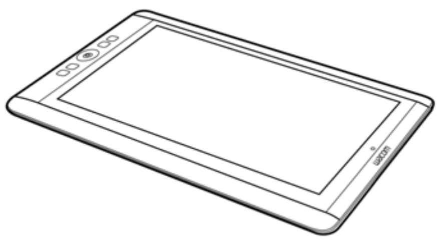
パーツおよび付属品

以下は本機と付属品です。

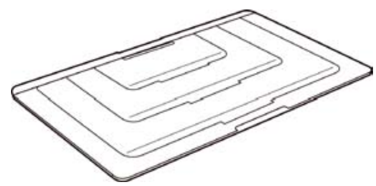
梱包を解く

- 机など水平で安定した作業環境で本機の梱包を解いてください。補足：濡れた場所には置かないでください。すべての付属品を点検し、内容がすべて揃っていることを確認してください。
- 本体および付属ケーブルの梱包材を取り外します。なお、梱包材および梱包箱は、輸送や保管のために残しておいてください。

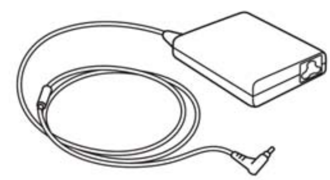
補足：本機のディスプレイ面を下に向けて置く場合は、傷がつかないようディスプレイ面の下に柔らかくきれいな布などを敷いてください。



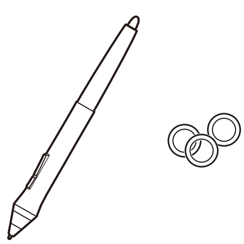
Cintiq Companion 本体



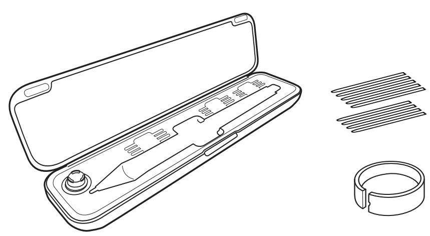
スタンド



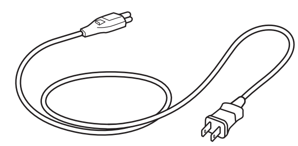
AC アダプタ



電子ペン、カラーペンリング



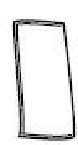
ペンケース、替え芯、芯抜き



電源ケーブル



ソフトケース



クリーニングクロス

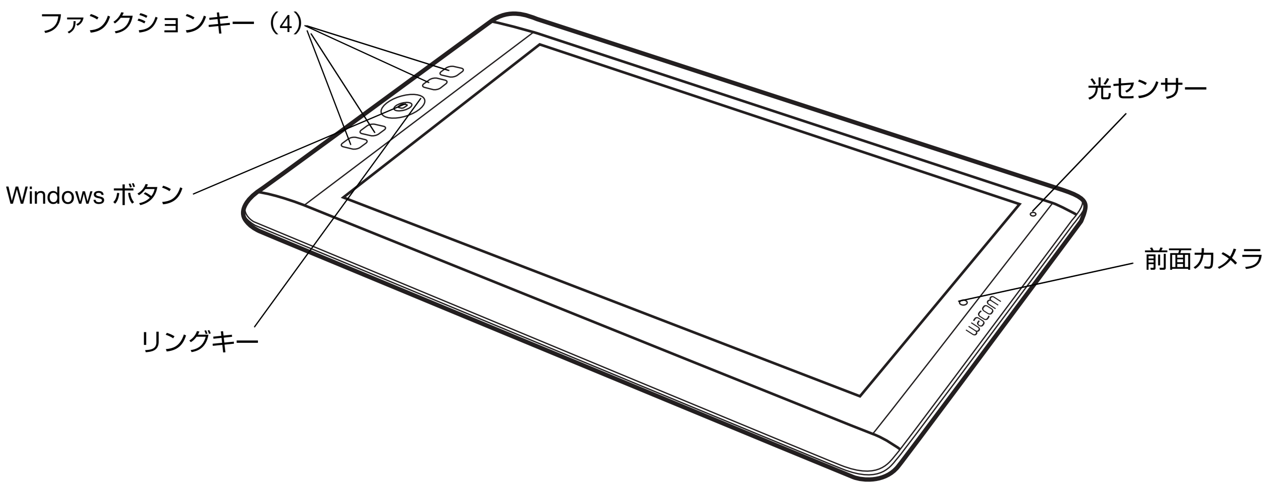


クイックスタートガイド
（冊子）

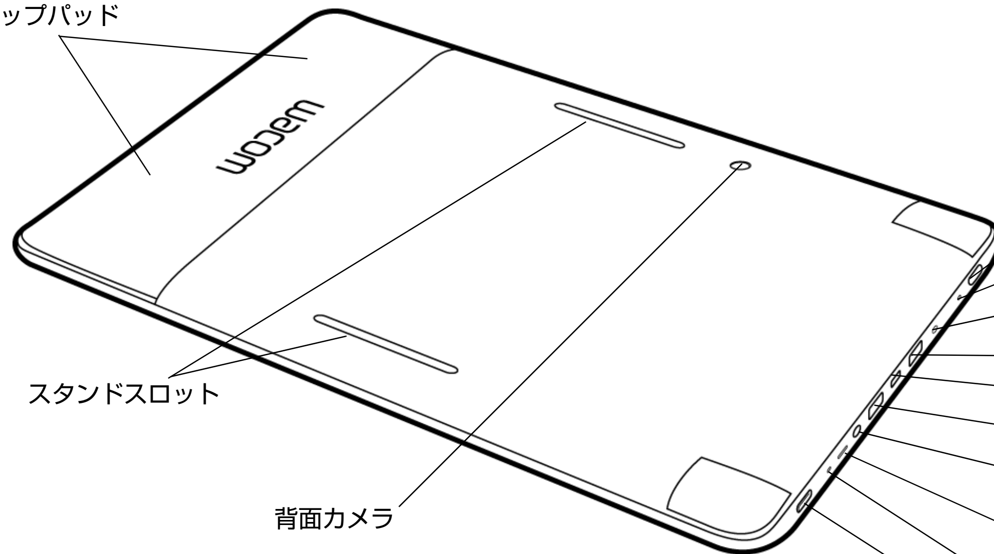
保証書

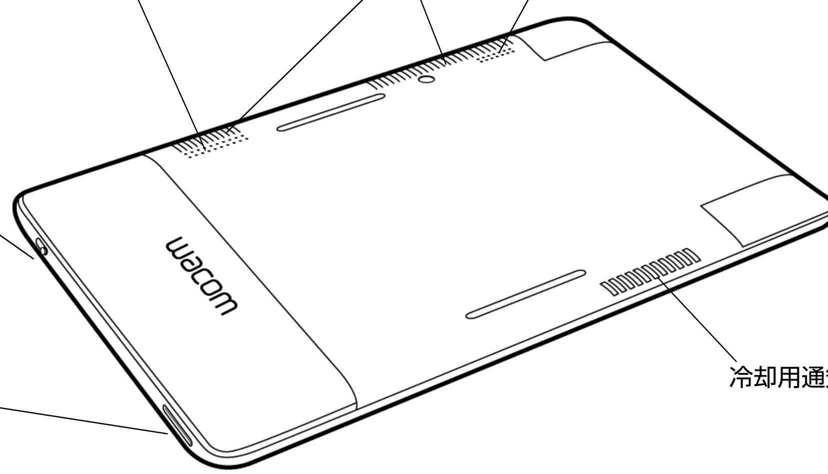
本体正面

以下に本機機能を図示しています。本機は右利き用、左利き用いずれかの方向で使用できるほか、横画面モード・縦画面モードいずれかの向きで使用できます。



本体背面・側面

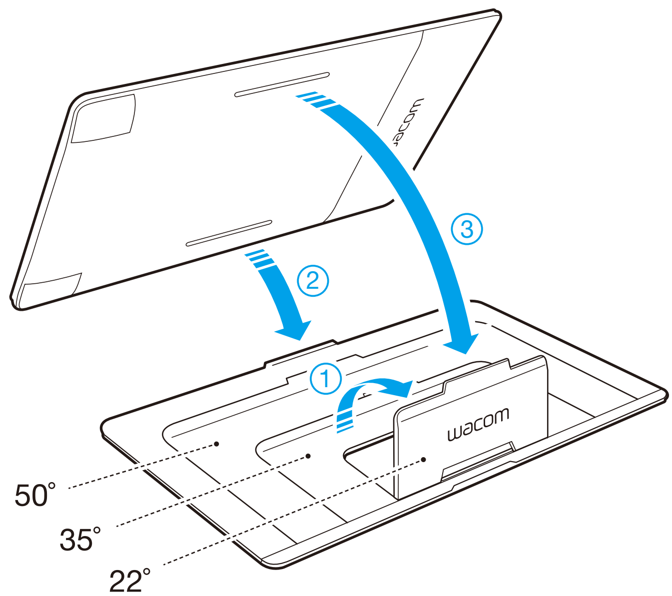

グリップパッド
wacom
電源スイッチ
マイク
ヘッドホン端子
USB ポート
Mini DisplayPort
USB ポート
DC 端子
（電源ケーブル接続）
MicroSD カード
スロット
マイク
電池ステータス
ランプ
スタンドスロット
背面カメラ


スピーカー
冷却用通気口
スピーカー
自動回転切替スイッチ
wacom
ボリューム
コントロールボタン
冷却用通気口

スタンドの角度調整

横画面では、スタンドを使用して 3 つの異なる角度にセットすることが可能です。角度の調整は次のように行います。下に示す背面・側面図を参照してください。

1. 任意の向きで本体を水平で安定した場所に置きます（ファンクションキーは左右いずれか）。
2. シルバーの面を下、差込側を上にしてスタンドを置きます。
3. どの角度で使用するか決めます。
4. 背面が見えるように本機を真っ直ぐに持ちます。
5. スタンドの下側のタブを、本体下側のスタンドスロットにセットします。
6. 本体下側のスタンドスロットにタブを差し込んだ状態で、任意の角度になるようタブをもう一方のスロットにセットします。上側タブ、下側タブが完全にスロットに差し込まれていることを確認してください。



オペレーティングシステム

本機では Windows 8 オペレーティングシステムを使用しており、従来の Windows と同様のデスクトップ画面と新しい Windows 8 スタート画面の両方に対応しています。

Windows 8 の使用方法に関するヘルプと詳細については、下記の Microsoft サポートサイトを参照してください。
http://support.microsoft.com/find-solutions/windows/windows-8.

はじめに
作業環境のセットアップ

電池残量と操作

本機の電池ステータスランプは次のように電池残量を示します。

ステータス	電池ステータスランプ
消灯	消灯
充電中	橙
充電完了	緑
残量低下	赤（電池残量が 10% 以下）
スリープ	消灯

電池残量はデスクトップ画面の場合は画面右下のステータスバーに、Windows 8 スタート画面の場合は画面右側からスワイプすると左下隅に表示されます。電池残量が低くなるとメッセージが表示され、ステータスランプが赤に変わります。電池残量が完全になくなると本機はシャットダウンします。

電池の使用温度が高過ぎ、または低過ぎるとメッセージが表示されます。本機を外部電源に接続している状態で、電池が過熱状態になった場合は接続を外してください。電池に何か問題があり、解決できない場合は、ワコムサポートセンターまでお問い合わせください。

電池を保護し寿命を最大化するには：

- 本機を室温で使用・保管してください。
- 電池残量が完全になくなった状態にしないでください。作業中は時折電源に接続して使用することをお勧めします。
- 本機を電源ケーブルから外してモバイルデバイスとして使用する場合は、電池ステータスランプが緑（十分に残量がある状態）であることを確認してください。
- 残量低下メッセージを無視しないでください。
- 本機を長時間使用しない場合は、保管前に充電をしてください。
  また、定期的に本機を起動して電池残量アイコンを確認してください。残量が低下していた場合は充電してください。

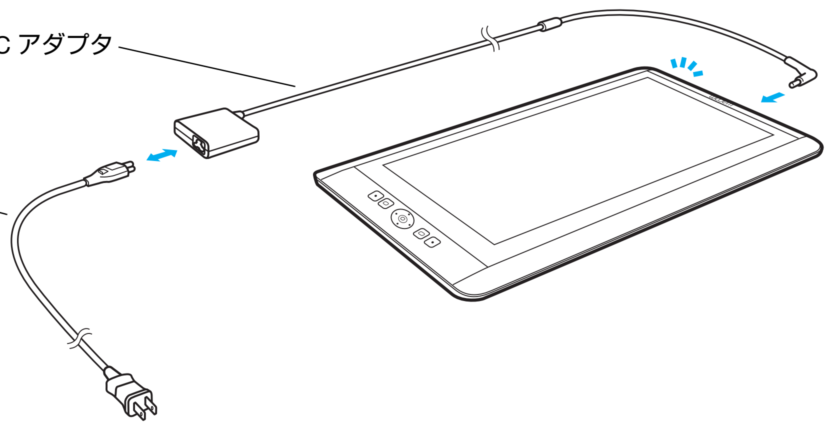
  重要：本機の電池を取り出したり、修理したり、交換したり、またはその他の変更を加えたりしないでください。電池に問題がある場合はワコムサポートセンターまでお問い合わせください。
- 「製品に関する重要なお知らせ」には製品の仕様、保証期間、関連情報が記載されていますので、こちらを参照してください。「製品に関する重要なお知らせ」はワコムデスクトップセンターの「ユーザーズガイド」からご覧いただけます。

製品仕様も参照してください。

はじめに

本機を使用するには Windows8 のセットアップ（初期設定）が必要です。使用準備が整ったら、次の手順を実施してください。

1. 本機を初めて使用する場合は、電源ケーブルと AC アダプタで電源に接続します。各部の位置については本体背面・側面で確認してください。



2. 電源スイッチを長押しして本機を起動します。Windows 8 のセットアップが立ち上がります。
3. Wi-Fi でインターネットにアクセスできることを確認してください。
4. 画面の指示に従って Windows 8 の初期セットアップを行います。
5. Windows 8 の初期セットアップが完了したら、ワコムデスクトップセンターを起動します。
   - デスクトップ画面の場合は、左下タスクバーの「ワコムデスクトップセンター」アイコンをクリックします。
   - Windows 8 の「スタート」画面の場合は「ワコムデスクトップセンター」タイルをクリックします。
6. ワコムデスクトップセンターの最初の項目である「ソフトウェアアップデート」をクリックして、最新版のタブレットドライバをダウンロードすることをお勧めします。

ワコムデスクトップセンターには、デスクトップ画面の場合はタスクバーから、Windows 8 の「スタート」画面の場合はタイルからアクセスできます。

作業環境のセットアップ

目や体の疲労を軽減させるため、本機を置く作業環境を整えて楽に作業ができるようにしてください。本機、電子ペンは手の届きやすい場所に配置してください。

本機は横画面モード・縦画面モードのいずれか好きな向きで使用することができます。本機の向きを変えると、数秒後に画面の向きが切り替わります。

画面の向きを固定するには、側面にある自動回転切替スイッチを使用してタブレットの向きを変えても画面の向きが変わらないようにしてください。自動回転切替スイッチの位置については本体背面・側面で確認してください。

重要な補足：

本機背面にある冷却用通気口を塞がないようにしてください。クッションや毛布のような柔らかいものの上に本機を置かないでください。

本機は固く水平な場所、または安定した場所で使用してください。

スタンドは角度調整にのみ使用してください。本機を水平にして使用する場合はスタンドを外します。

使用中に過熱状態になると、本機はシャットダウンします。この場合は冷却するまで再起動できません。

カラーペンリングによる電子ペンのカスタマイズを除き、本機と電子ペンは分解可能な製品ではありません。その他の場合に本機を分解すると、保証が無効になります。

本機や電子ペンに液体をこぼさないように注意してください。液晶画面やリングキー、ファンクションキー、サイドスイッチ、ペン先には、液体が入ると故障するデリケートな電子部品が入っています。これらを濡らさないように、特に注意してください。

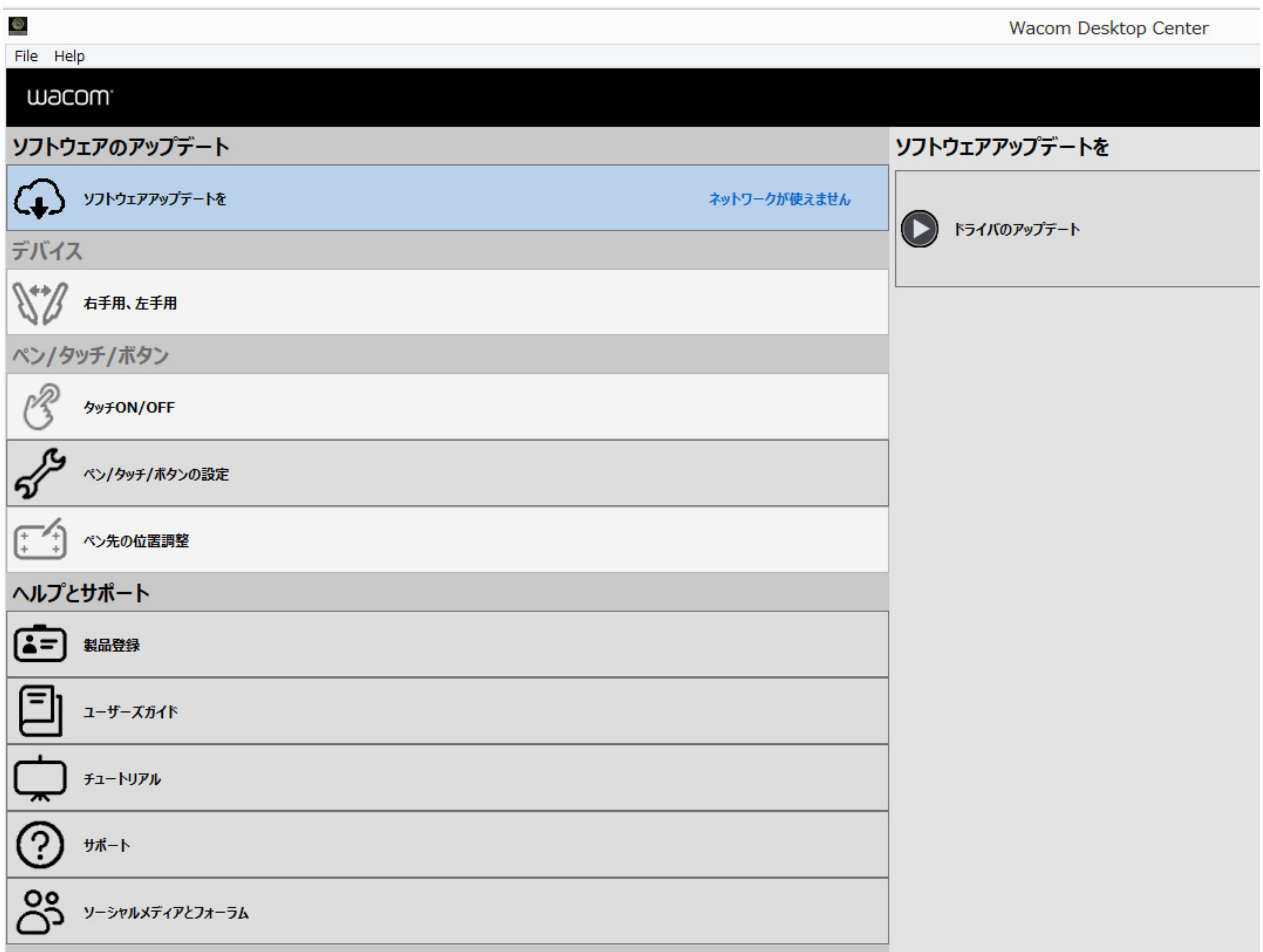
ワコムデスクトップセンター

ワコムデスクトップセンター (Wacom Desktop Center) とは、電子ペンとタッチ入力の設定変更、使用方法の確認、関連 Web サイトへの接続ができるユーティリティです。デスクトップ画面、Windows8 の「スタート」画面いずれの場合でもいつでもアクセスでき、タスクバーにアイコンを配置することが可能です。ワコムデスクトップセンター画面では画面左側のメニューから選択してそれぞれのオプションを表示します。

初めて起動したときには、本機の使い方に関する短いチュートリアルが表示されます。チュートリアルはこのときに確認するか、後でワコムデスクトップセンターの「サポート」から利用することができます。

ファンクションキーの標準設定は、セットアップ時に選択した利き手設定を元に決定されています。ワコムデスクトップセンターから、ユーザの利き手に合わせていつでも設定を変更できます。新しい設定に合わせてファンクションキーが自動的に変更されます。コントロールパネルの「オプション」ダイアログで利き手を設定することも可能です（本機のカスタマイズを参照してください。）。

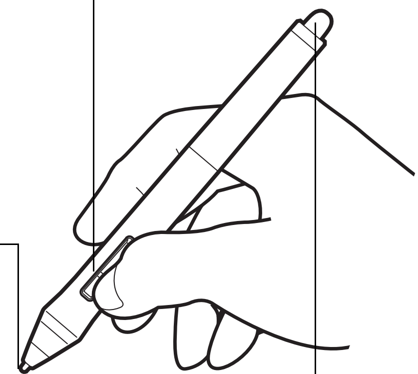
ワコムデスクトップセンターには、デスクトップ画面の場合はタスクバーのアイコンから、Windows 8 の「スタート」画面の場合はタイルからアクセスできます。



ワコムデスクトップセンターでは次のオプションが利用可能です。

- ソフトウェアアップデート：「ドライバのアップデート」をクリックしてタブレットドライバの更新の有無を表示します。
- デバイス：
  - 右手用、左手用：画面の方向を利き手に応じて選択してください。
- ペン / タッチ / ボタン：
  - タッチ ON/OFF：本機のタッチ機能をオン・オフします。タッチ機能をオフにすると、タッチによる切り替え等の操作ができません。
  - ペン / タッチ / ボタンの設定：下記機能のコントロールパネル設定にアクセスします。
    - ペンの設定を開く：電子ペンのカスタマイズを参照してください。電子ペン使用方法の概要については、電子ペンの機能の機能および電子ペンの使い方を参照してください。
    - タッチ入力とジェスチャの設定：マルチタッチオプションの設定およびマルチタッチのカスタマイズを参照してください。マルチタッチ使用方法の概要については、マルチタッチ機能を使うを参照してください。
    - ファンクションキーの設定を開く、リングキーの設定を開く：ファンクションキー、リングキー、Windows ボタンの使い方を参照してください。
  - ペン先の位置調整：ペン先の位置調整を参照してください。
- ヘルプとサポート：
  - 製品登録：リンクをクリックするとユーザ登録サイトにアクセスします。
  - ユーザーズガイド：本機の製品情報に関する各種オンラインマニュアルにアクセスできます。「製品に関する重要なお知らせ」には、製品の仕様、保証、関連情報が記載されています。
  - チュートリアル：本機の基本的な使い方や応用方法の説明ビデオです。Wi-Fi 接続があれば、いつでもホームページから製品情報および解説ビデオにアクセスできます。
  - サポート：本機に関するワコムサポートサイトにアクセスできるほか、詳細情報やよくあるご質問と回答を掲載している Web サイトにアクセスできます。
  - ソーシャルメディアとフォーラム：便利なワコムページが掲載されているソーシャルメディアサイトへのリンクを示します。

電子ペンの機能



サイドスイッチ：電子ペンにはカスタマイズ可能なサイドスイッチが付いています。サイドスイッチは上下 2 つあり、押すことによりあらかじめ設定されている機能が働きます。このサイドスイッチは、ペン先が画面の近く（5 mm 以内）にあるときはいつでも使用できます。

標準設定では上のスイッチがダブルクリックに、下のスイッチが右クリックに設定されています。スイッチの機能はコントロールパネルでカスタマイズまたは無効にすることができます。

ペン先（交換可能）：画面にペン先を近づけると、操作エリアがペン先を認識します。これにより、ペン先で画面に触れずにポインタの位置決めができます。

画面に触れると、電子ペンはマウスの左ボタンクリックと同じ働きをします。ペン先のクリック圧は、コントロールパネルで調整できます。

消しゴム：電子ペンを逆に持ち、画面にテールスイッチ（消しゴム）を近づけると、操作エリアがテールスイッチの位置を認識します。テールスイッチが画面に触れると、筆圧が感知されます。標準設定では、この機能は「消しゴム」に設定されています。

重要：

- 本機に付属の電子ペンまたは本機に対応したワコムのオプションペンのみをご使用ください。付属品以外の電子ペンは、本機では正常に動作せず液晶画面が故障する場合がありますので、使用しないでください。
- 液晶画面に傷がつきますので本機にフェルト芯を使用しないでください。
- 電子ペンを使用しないときは、専用のペンケースに入れるか、机の上に横にして置いてください。ペン先の感度を維持するため、ペン先や消しゴムが押された状態で保管しないでください。電子ペンが故障するおそれがあります。

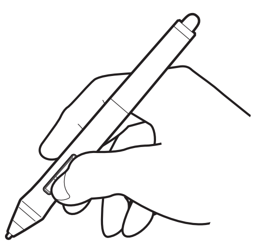
電子ペンの使い方

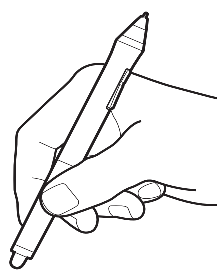
電子ペンは、ポイント、クリック、ダブルクリック、ドラッグという 4 つの基本操作で使用します。

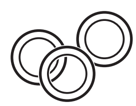
電子ペンを手に持つ
マルチタッチ機能を使う
クリック
ドラッグ
筆圧を使って描画する
傾きで描画する

電子ペンを手に持つ

鉛筆やボールペンと同じように持ち、サイドスイッチが親指か人差し指で操作しやすい位置になるように持つ位置を調整してください。ただし電子ペン使用時に誤ってサイドスイッチを押してしまわないような位置にします。



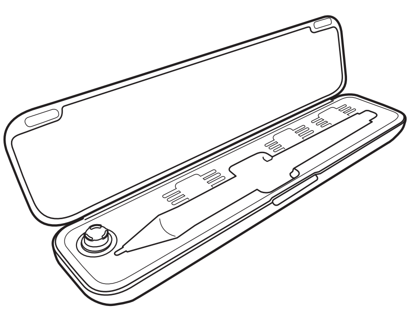




複数の電子ペンを使用していて、それぞれの電子ペンの識別をしたい場合には、ペンの先端を緩めて外し、別の色のカラーペンリング（非売品）と交換してください。

電子ペン設定はいつでもカスタマイズできます。

電子ペンは使用するときに使いやすい位置に置いてください。電子ペンを使用しないときは、専用のペンケースに入れるか、机の上に横にして置いてください。



重要：電子ペンの感度を維持するため、ペン先や消しゴムが押された状態になるような状態で保管しないでください。ペン先の筆圧センサーが故障するおそれがあります。

ポインタの位置決め

画面上でポインタの位置を決めるときは、画面に触れずにペンを画面の少し上で動かします。するとペン先に合わせてポインタが移動します。続いてペン先で画面にタッチして選択します。

補足：ペン先の位置調整をすると、ポインタの位置を正確にペン先と合わせることができます。

ペン先を画面に置いてもポインタがペン先の近くに移動しない場合には、タブレットドライバがインストールされていないか、起動していない、もしくはペン先とポインタの位置調整を行っていない可能性があります。タブレットドライバをインストールしていない場合は、必ずタブレットドライバをインストールしてください。

クリック

画面をペン先で 1 回軽くたたくか、クリックと認識されるぐらいの筆圧でペン先を画面に押し当てます。

ダブルクリックするには、上側のサイドスイッチを押すか（「ダブルクリック」に設定されている場合）、同じ場所でディスプレイ画面をペン先で素早く 2 回、軽くたたきます。

消しゴムで消す

消しゴム機能に対応するソフトウェアでは、電子ペンのテールスイッチは鉛筆の消しゴムのように機能します。文章作成ソフトでは、テールスイッチで文字を選び、続いて画面からペンを持ち上げて文字を消去します。

消しゴム機能をサポートするソフトウェアについてはワコムのホームページをご覧ください（製品情報参照）。サポートしていないソフトウェアでも、テールスイッチは位置決め、描画、アノテーション（書き込み）に消しゴムを使用できます。

ドラッグ

オブジェクトを電子ペンでタッチし、次にペン先を画面上でスライドさせて、オブジェクトを動かします。

サイドスイッチ

電子ペンにはカスタマイズ可能なサイドスイッチが付いています。サイドスイッチは上下 2 つあり、押すことによりあらかじめ設定されている機能が働きます。詳細については電子ペンの機能を参照してください。

筆圧を使って描画する

電子ペンは手の動きに反応し、自然な感じのペンブラシのストロークを描きます。筆圧対応のソフトウェアは、ペンに加えられた筆圧に反応します。

筆圧機能を使用するには、ペン先への筆圧を変えながらペンを画面の上で動かします。太い線や濃い色を描く場合は強く、細い線や薄い色を描く場合は弱めに筆圧をかけます。一部のソフトウェアでは、まずツールパレットから筆圧対応ツールを選択しなければならない場合があります。ペン先の感触を調整するには、ペン先の感触とダブルクリックの調整を参照してください。

筆圧対応のソフトウェアについてはワコムのホームページをご覧ください（製品情報参照）。

傾きで描画する

ペンを垂直状態から傾けると、本機はその動きを認識します。傾きは、対応するソフトウェアで線の形や太さを調整するために使用できます。

傾き検出対応のソフトウェアについてはワコムのホームページをご覧ください（製品情報参照）。

WINDOWS でのペンおよびデジタルインク機能

Windows 8 は、ペン入力に対応しています。本機と電子ペンを、素早く直観的な作業にご利用ください。

- 手書きメモ帳機能：「Windows Journal」をタブレットで操作すれば、手書きメモや図形をファイルに直接書き込むことができます。Journal 検索エンジンでは手書きの内容も検索できます。
- 手書き文字認識機能：文字入力を受け付ける場面であればいつでも手書きで素早く入力し、テキストに変換できます。
- Office デジタルインク機能：対応ソフトウェアの「校閲」タブには、ペンタブレットを接続して手書き文字や図形を自由に書き込めるデジタルインク機能があります。ご活用ください。

Windows 8 の Windows Journal は以下の手順で開きます。

1. 「スタート」画面のチャームバーから「検索」を選択します。
2. 画面右側の検索ボックスに「Windows Journal」と入力します。
3. 画面左側に「Windows Journal」ボックスが表示されたら、これを選択します。

ファンクションキー、リングキー、WINDOWS ボタンの使い方

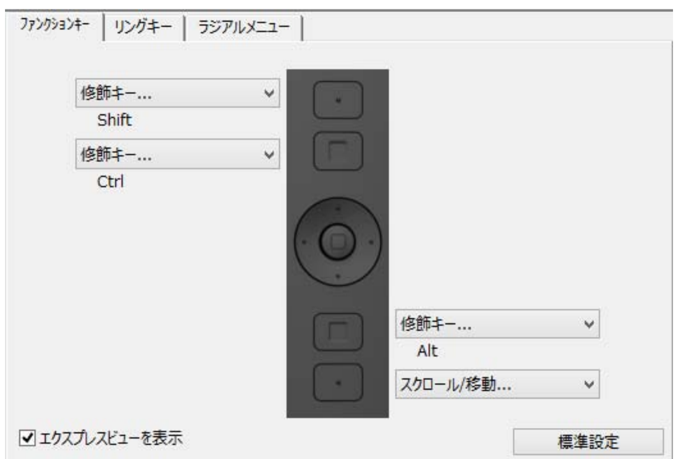
ファンクションキーとリングキーは、よく使用する機能やキーストロークを割り当てることができます。ペンやその他の入力デバイスのプロパティを変更するためにも使用できます。

リングキーの 4 つの方向キー（上下左右）と Windows ボタンはファンクションキーのようにカスタマイズすることができます。例えば、次のことが可能です。

- よく使う修飾キー、キーストローク、ショートカット、ファイル、ソフトウェアに設定する。
- 電子ペンのサイドスイッチを使用できない、または使用したくない場合にキーを右クリックまたはダブルクリックに設定しておく。
- カスタマイズ可能なその他の機能については、ファンクションキーおよびリングキーのカスタマイズを参照してください。

以下はファンクションキーとリングキーの標準設定です。なお、これは右利き用設定です。左利き用の設定では、ファンクションキー設定が左右逆になります。

Windows ボタンを押すと、Windows 8 の「スタート画面」とデスクトップ画面が切り替わります。





重要：ソフトウェアによっては、ファンクションキーやリングキーの機能があらかじめ設定されている場合があります。詳細は、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使うを参照してください。

マルチタッチ機能を使う

本機にはインタラクティブなマルチタッチ機能が搭載されており、画面上で指先を使った本機の操作が可能です。

Windows のジェスチャーについては、www.wacom.com から Wacom Gesture Guide を参照してください。

- タッチ機能を使用する際は、やりやすい範囲で指同士を離して使用できます。ただし、指同士を近づけすぎると 1 本の指からの入力と認識されたり、どの指でアクションまたはジェスチャーを行っているのか認識されにくい場合があります。指は必ず画面上の読取可能範囲に置いてください。
- タッチ機能を試して、最適な設定を見つけてください。ジェスチャーを行うときに、誤ってディスプレイ画面をタッチしないよう注意してください。例えば、ズームやスクロール中に別の指がディスプレイ画面に触れると、予期せずに右クリックと認識される場合があります。

補足： 対応するアプリケーションで電子ペンとタッチを同時に使用できます。ペン先がディスプレイ画面の近くにあるときは、電子ペンがタッチよりも優先されます。タッチを使うには、電子ペンと手のひらを画面から離してください。

マルチタッチでの操作
マルチタッチのカスタマイズ
マルチタッチのテスト

マルチタッチでの操作

タッチ機能は割り当てられたファンクションキーを使用するか、コントロールパネルの「タッチオプション」タブの「タッチ入力を有効にする」を選択することで有効化・無効化できます。ファンクションキー、リングキーと一緒にタッチ機能をカスタマイズできます。

マルチタッチのカスタマイズ

コントロールパネルから製品毎のマルチタッチ設定をカスタマイズできます。「入力デバイス」リストから「タッチパネル」アイコンを選択します。次にカスタマイズするタブを選択し、使用可能なオプションを使用して設定を変更してください。マルチタッチでの操作も参照してください。

コントロールパネルの概要
マルチタッチオプションの設定
特定のソフトウェアに対する設定
マルチディスプレイ環境で使う

マルチタッチオプションの設定

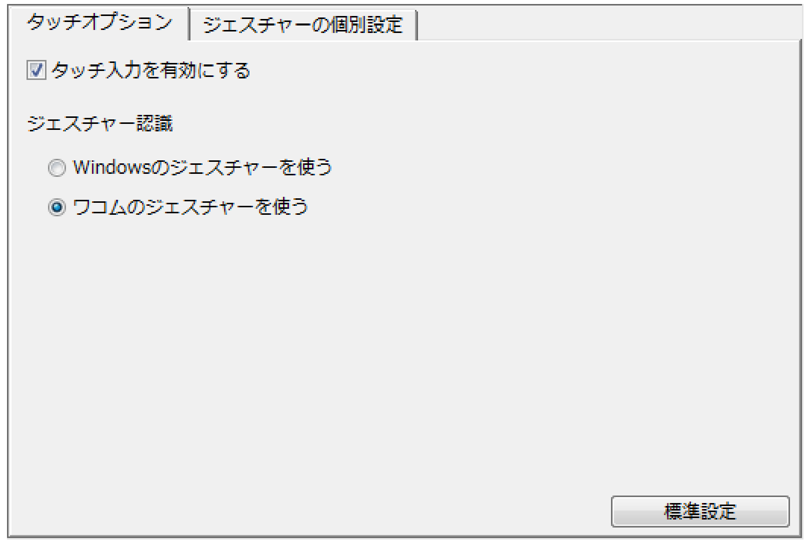
タッチ機能は、「タッチオプション」タブの「タッチ入力を有効にする」を選択することで有効化できます。

ボックスをクリックしてタッチ機能を有効化します。

Windows 標準ジェスチャーを使用するか、ワコムのジェスチャーを使用するかを選択します。標準設定では Windows ジェスチャーが使用されます。

これは標準設定としてすべてのアプリケーションに適用されます。

ヒント： アプリケーション間で一貫したタッチエクスペリエンスを得るには、「ワコムのジェスチャーを使う」を選択します。

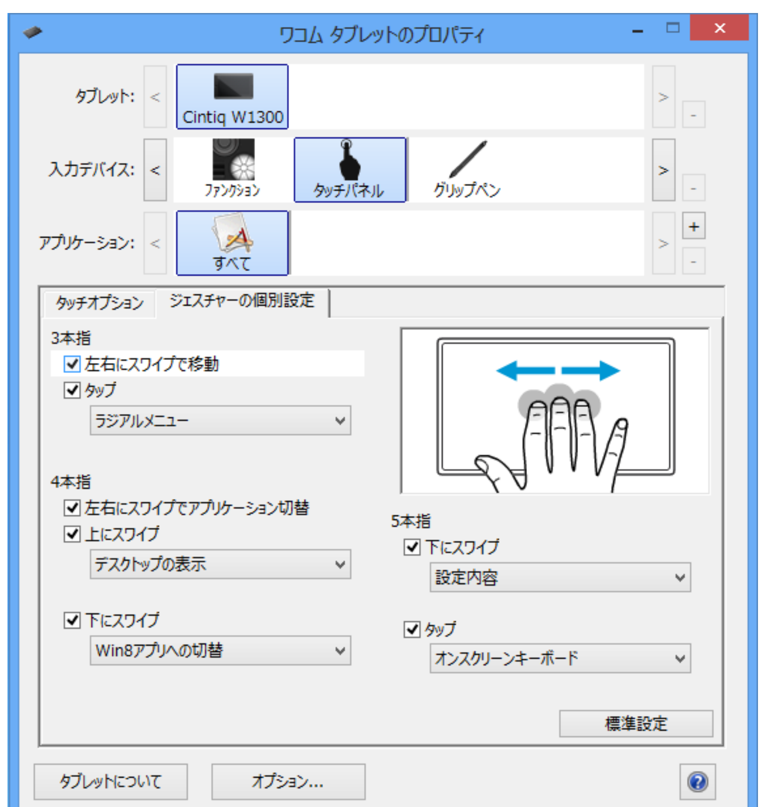


マルチタッチ設定画面では、画面のポインタをオプションに合わせると、タッチジェスチャーの画像が表示されます。特定の表示オプションを選択しなかった場合は、コントロールパネルに各オプションが上から順に表示されます。

マルチタッチでの操作も参照してください。

「タッチオプション」タブの「ワコムのジェスチャーを使う」オプションを選択すると「ジェスチャーの個別設定」タブが表示されます。

マルチタッチジェスチャーはドロップダウンメニューからの選択に基づき、選択時に利用可能となります。



マルチタッチのテスト

マルチタッチで問題が発生した場合：

1. 本機の電源が入っているかをご確認ください。
2. 割り当てられたタッチ機能を確認するか、標準設定にリセットします。
3. 指で画面上の様々な箇所をタッチして画面のポインタを動かしてみます。項目をタッチして選択します。
4. コントロールパネルを開き、「タブレットについて」ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスから「診断 ...」をクリックします。「診断」ダイアログボックスには本機とご使用の入力デバイスに関する情報、およびマルチタッチ入力が可能な機種についての情報が表示されます。

終了したら、「閉じる」ボタンを押してダイアログボックスを終了します。

マルチディスプレイ環境で使う

本機と他のディスプレイをコンピュータに接続した場合、ディスプレイ上でのポインタ動作はコンピュータの設定によって異なります。Windows 8 のコントロールパネルからディスプレイ設定を変更できます。

セカンドディスプレイがミラーモードで接続されている場合は、本機と他のディスプレイに同じ画面が表示され、ポインタは同じ動作をします。

その他ディスプレイでの操作については次の 2 つのオプションがあります。

- ファンクションキーまたは電子ペンのサイドスイッチの 1 つを「ペン⇔マウスモード」に設定します。これによって本機の上で作業するペンモードと他のディスプレイ上で作業するマウスモードをすばやく切り替えることができます。
- Intuos Pro タブレットを接続して使用すれば、その他のディスプレイでもペンモードで操作できます。電子ペンは本機でもタブレット上でも使用できます。

本機のカスタマイズ

本機のカスタマイズおよび入力デバイス設定の調整はコントロールパネルから行うことができます。コントロールパネルには、デスクトップ画面の場合はワコムデスクトップセンターから、Windows 8 の「スタート」画面の場合はタイルからアクセスできます。

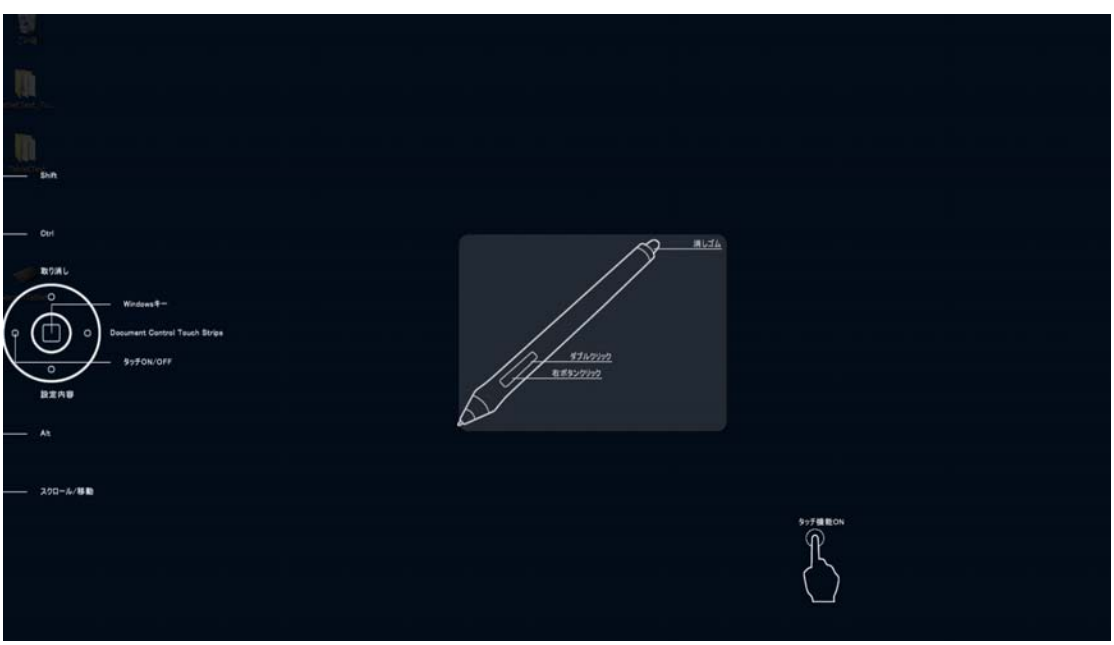
本機をカスタマイズし入力デバイスの設定を調整できます。操作に慣れたユーザは、特定のソフトウェアに対する設定を作成することにより、本機を最適な状態でお使いいただくことができます。

設定の表示とエクスプレスビュー

コントロールパネルの「ファンクションキー」タブで「エクスプレスビューを表示する」のチェックボックスを選択すると、任意のファンクションキーまたはリングキーを長押しすると設定内容が画面に表示されます。

ファンクションキーまたはリングキー位置に設定機能を割り当てることができます。そのキーまたは位置をクリックするとエクスプレスビューが表示されます。次に図中の任意の項目をクリックして設定を変更できます。エクスプレスビューは、ファンクションキーを放してから約 1 秒で閉じます。

この機能はチェックボックスのチェックを外すとオフになります。



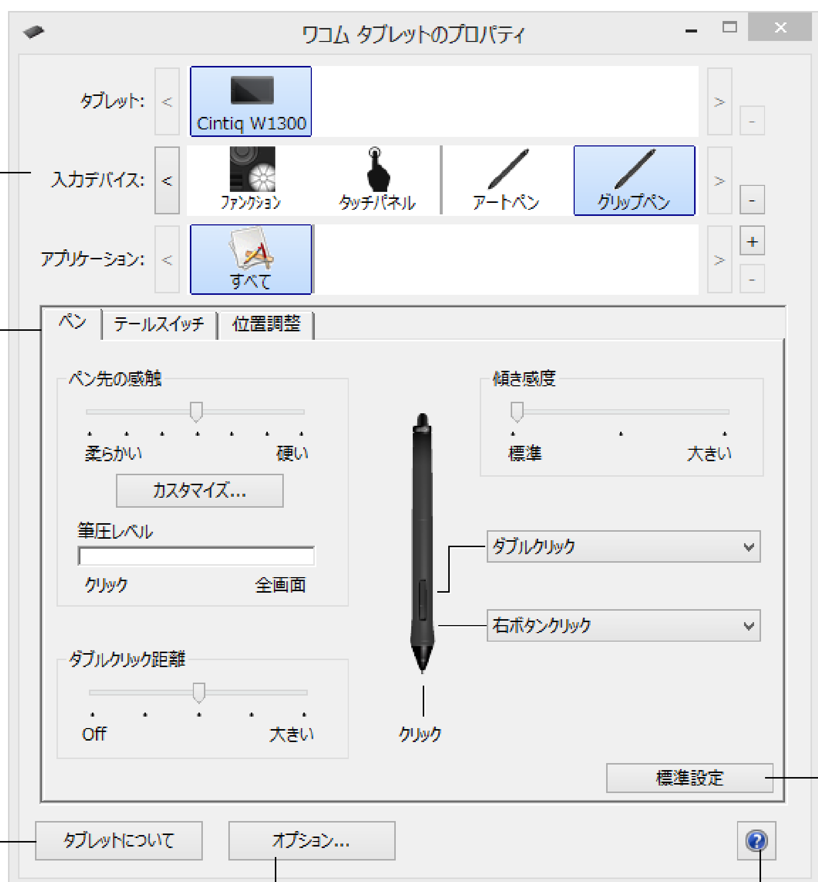
コントロールパネルの概要

コントロールパネルでは、本機と電子ペンをカスタマイズできます。コントロールパネルを開くと、電子ペンまたはその他の入力ツールのアイコンが「入力デバイス」に表示されます。該当するタブが表示されます。

コントロールパネルは以下の手順で開きます。

デスクトップ画面下部のタスクバーからデスクトップセンターのアイコンを選択し、「ペン / タッチ / ボタンの設定」・「ペン先の位置調整」メニューから、または「スタート」画面の「ワコムタブレットのプロパティ」タイルをクリックして、コントロールパネルを開きます。

タブレットドライバは、ユーザごとの設定が可能です。ログイン後に各ユーザは、コントロールパネルで個人設定をカスタマイズできます。ユーザを切り替えると、新しいユーザの設定に切り替わります。

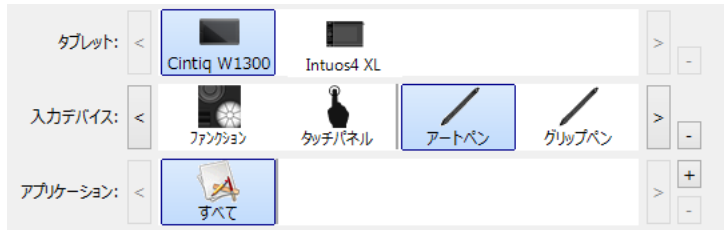


コントロールパネルのほとんどの項目で、項目の上に画面のポインタを静止させると該当するヒントがすぐにポップアップします。キーボードのタブと矢印キーでコントロールパネルを操作することもできます。

「タブレット」、「入力デバイス」および「アプリケーション」リストから、設定変更するタブレット、入力デバイス、およびソフトウェアを選択できます。

「タブレット」リストには、コンピュータに接続しているタブレットのアイコンが表示されます。リストの下に表示される設定はすべて、選択したタブレットに適用されます。接続しているペンタブレットの設定を閲覧または変更することができます。

複数ペンタブレットの設置およびタブレットリスト内のタブレット名を変更するも参照してください。



現在の選択がハイライトされます。

「入力デバイス」リストには、「ファンクション」と使用されている各種入力デバイスのアイコンが表示されます。

入力デバイスの設定をカスタマイズする場合は、「入力デバイス」リストのアイコンをクリックしてください。該当するタブが表示されます。詳細は、ファンクションキーおよびリングキーのカスタマイズおよび電子ペンのカスタマイズを参照してください。

補足： 本機で初めて電子ペンを使用すると、電子ペンは自動的に「入力デバイス」リストに加えられ、標準設定の状態で追加されます。

複数の入力デバイスで使うも参照してください。

「アプリケーション」リストで、特定のソフトウェアにのみ適用する「入力デバイス」設定を定義できます。特定のソフトウェアに対する設定を参照してください。

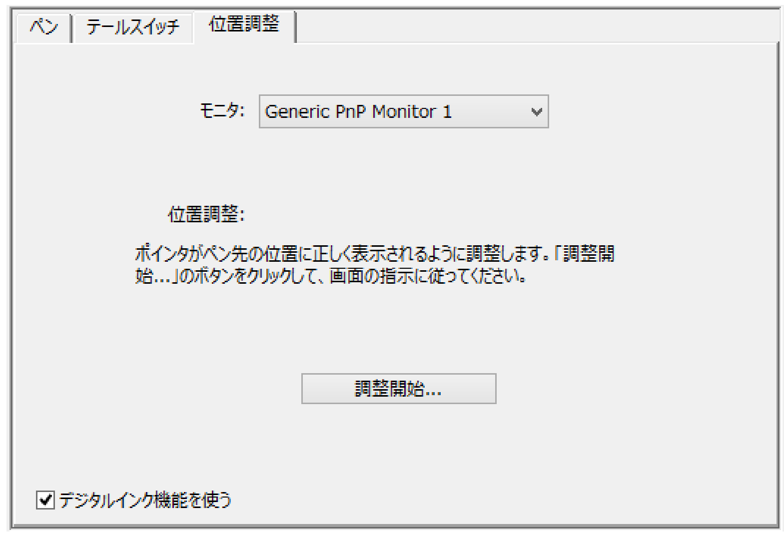
補足：「アプリケーション」リストは任意です。入力デバイスをカスタマイズするために、ソフトウェアを選択または追加する必要はありません。

ペン先の位置調整

本機を最適な状態でお使いいただくために、ペン先の位置調整を行い、ポインタとペン先の位置を合わせる必要があります。これは、保護ガラスによる視差の調整のために必要です。本機を通常使用するときの姿勢と目の位置（高さ）で、本手順を行ってください。

1. コントロールパネルを開きます。

   コンピュータに複数のペンタブレットを接続している場合は、位置調整をするペンタブレットを「タブレット」リストから選択します。
2. 「入力デバイス」リストから「プロペン」を選択します。
   次に「位置調整」タブを選択します。
3. 「調整開始 ...」をクリックして位置調整画面を開きます。
4. 普段通りにペンを持ち、通常本機を使うときの姿勢と目の位置（高さ）を保ちます。左上に表示された十字マークの中心をペン先でクリックします。
5. 左上に続いて、画面の右上、左下、右下に表示される十字マークの中心をクリックします。
6. ディスプレイ上の数カ所をペンでタッチし、ポインタとペン先の位置が合っているかテストします。問題なければ「OK」をクリックし、再度調整する場合は「再調整」をクリックします。

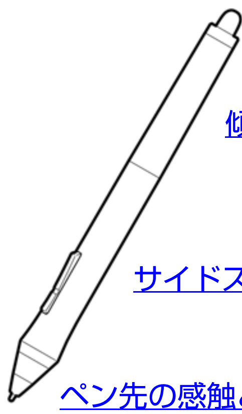


Windows のインク機能が利用可能であり、MS Office など Windows アプリケーションでペンによりインク機能を使用するには、「デジタルインク機能を使う」にチェックを入れてください。

ヒント：ポインタを実際のペン先の位置から少しずらすには、十字マークからずれた位置を示す点をクリックして位置調整します。たとえば、ポインタの位置をペン先の左上方 2.5 mm に表示させるには、十字マークの右下方 2.5 mm の点をクリックして位置調整します。

電子ペンのカスタマイズ

電子ペンでコントロールパネルを開くと、「入力デバイス」リストから自動的に対応するペンが選ばれ、その内容に応じてタブが表示されます。選択されていない場合は「入力デバイス」リストからペンを選択してください。そしてタブを選択し、使用可能なオプションを設定します。


消しゴムの感触の調整
傾き感度のカスタマイズ
サイドスイッチのカスタマイズ
ペン先の感触とダブルクリックの調整
ペン先と消しゴムの筆圧の詳細設定
特定のソフトウェアに対する設定

ワコムは、アートペンやエアブラシといった多数の本機対応オプションペンを提供しております。

- アートペンは筆圧に対応したペン先とテールスイッチ（消しゴム）を搭載し、さらに傾き、回転にも対応しています。
  回転の検出をサポートするソフトウェアで使用すると、ペン軸を回転させるだけで、線の幅を狭くしたり太くしたりできます。
- エアブラシは本物志向のテジタルエアブラシです。筆圧機能、消しゴム機能、傾き検出、およびホイール機能を搭載し、アナログのエアブラシの感覚をそのままに作業できます。

本機のタブレットドライバは、これらの入力デバイスをサポートしています。本機の画面上でこれらの入力デバイスを使用すると、「入力デバイス」リストに追加されます。コントロールパネルが自動で更新され、新しい入力デバイスとカスタマイズ可能なオプションが表示されます。

エアブラシのホイール、アートペンの回転をサポートしているソフトウェア内で、これらの機能を調節することができます。詳しくはソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

これらのオプションデバイスやその他オプション品を購入するには、ワコムストアのホームページをご覧ください。

http://store.wacom.jp

ワコムのホームページで、エアブラシ、アートペンの機能をサポートしているソフトウェアを確認できます。

http://wacom.com/

ペン先の感触とダブルクリックの調整

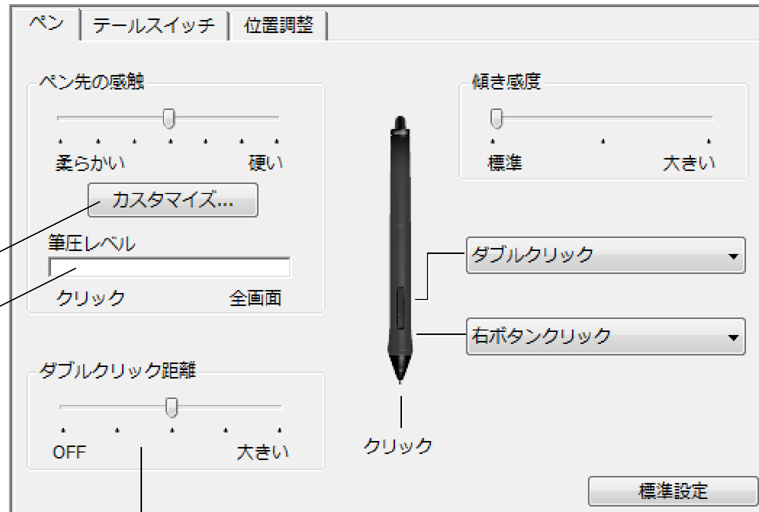
ペンの感度を調整する場合は、「ペン」タブを選択します。

クリックしたり線を描いたりインク機能を使用する際に必要な筆圧をカスタマイズします。

太い線で描きたい、または軽い力でクリックしたい場合は、より「柔らかい」に設定します。強い筆圧で細い線を描きたいときは、より「硬い」に設定します。

ペン先の感度をさらにカスタマイズできます。

画面上の空領域にポインタを置き、ペン先で画面を押します。無理なく最大筆圧が得られるように、筆圧をスライダで調整します。



ダブルクリックする領域の大きさを調整します。ダブルクリックアシストを作動しないようにするには、スライダを OFF の位置へドラッグします。

ヒント：

- 「ペン先の感触」を「柔らかい」の方へ設定すると、筆圧の感度が高まります。筆圧対応のグラフィックソフトウェアでは、この設定をお勧めします。
- ソフトウェアによっては、柔らかい筆圧の設定に過剰に反応し、電子ペンを少し押しただけでブラシサイズが画面上で拡大する場合があります。この場合は「ペン先の感触」を「硬い」の方へ設定してみてください。
- ダブルクリックを簡単にするには、ダブルクリックする範囲（ダブルクリック距離）を大きくします。
- グラフィックソフトウェアによっては、ダブルクリック距離を大きくしたことにより、ドラッグ操作やインクのストロークの開始が遅れることもあります。この場合、ドラッグ操作やインクのストロークの開始も遅れる場合があります。このような場合はダブルクリック距離を小さく設定し、サイドスイッチを使用してダブルクリックしてみてください。また、ファンクションキーをダブルクリックに設定することも可能です。

消しゴムの感触の調整

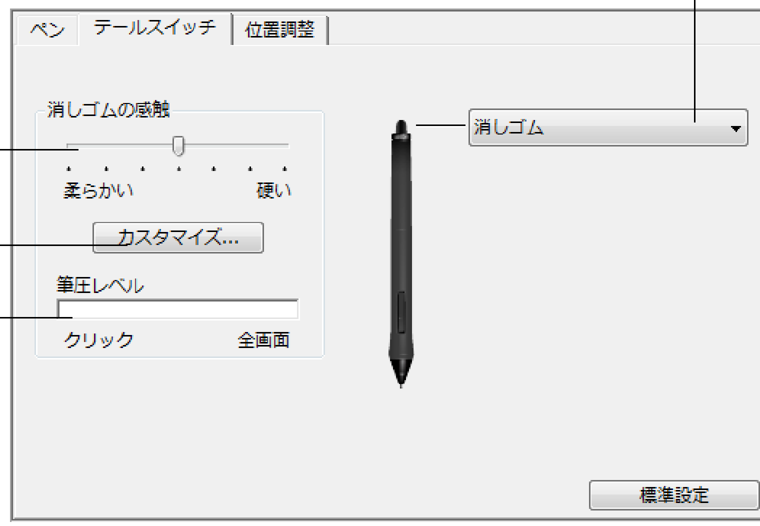
消しゴムの感触を調整する場合は、「テールスイッチ」タブを選択します。

テールスイッチを使用した場合に働く機能を選択します。

消しゴムの筆圧をカスタマイズします。

消しゴムの感度をさらにカスタマイズできます。

画面上の空領域にポインタを置き、電子ペンの消しゴムで画面を押します。無理なく最大筆圧が得られるように、筆圧をスライダで調整します。



ペン先と消しゴムの筆圧の詳細設定

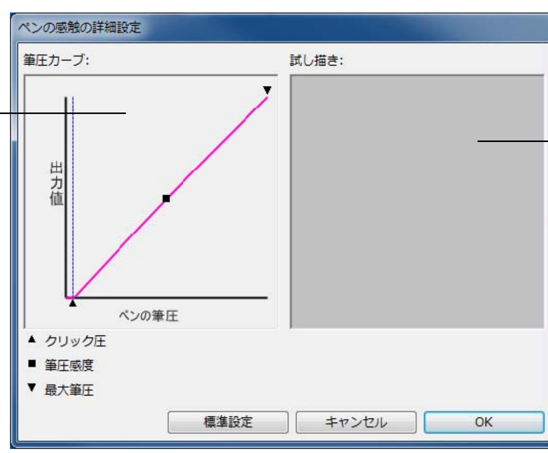
さらにペン先または消しゴムの筆圧をカスタマイズする場合、「ペン」または「テールスイッチ」タブを選択し、「カスタマイズ ...」ボタンをクリックします。「ペンの感触の詳細設定」ダイアログボックスのオプションで、ペン先または消しゴムの筆圧感度とクリックのしきい値設定を変更できます。

選択した筆圧感度の曲線とクリック圧の設定を図で示しています。

感度曲線を変更するには筆圧スライダを動かします。

- 「クリック圧」では、ペン先のクリックに必要な筆圧を設定します。
- 「筆圧感度」を調節し、筆圧カーブの傾きを変更します。
- 「最大筆圧」は、最大筆圧を得るために必要な荷重を設定します。

筆圧の各コントロールを動かして、筆圧カーブを変更します。急激な増加を表す曲線は、ペンの感度が高いことを示します。

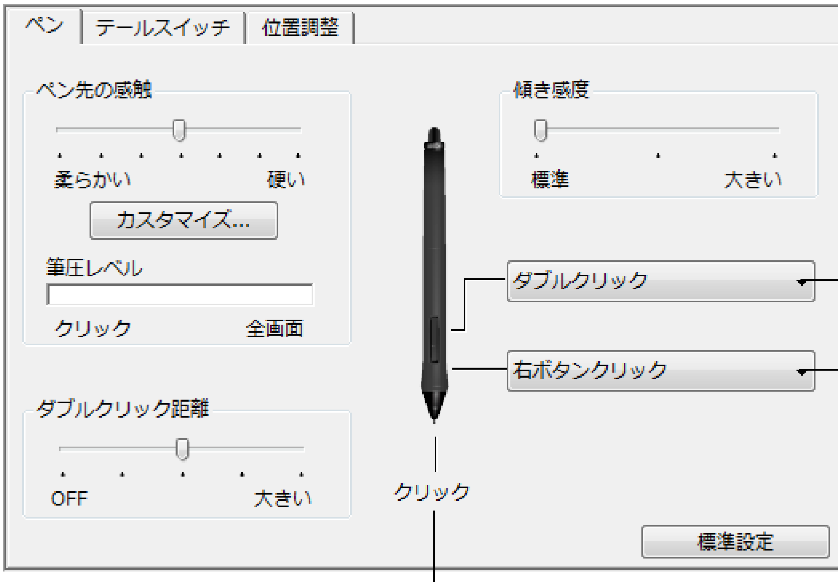


ペン先または消しゴムを使って、ボックス内を何度か試し描きしてみて、変更結果をテストしてください。

重要：「ペン先の感触」、または「消しゴムの感触」のスライダと詳細な設定は連動しています。詳細な設定をカスタマイズしてから、スライダをドラッグすると、詳細設定で設定した内容が削除されます。

サイドスイッチのカスタマイズ

サイドスイッチおよびペン先に割り当てられた機能を変更する場合は、「ペン」タブを選択します。



「傾き感度」のスライダをドラッグして設定します。傾き検出に対応したソフトウェアで新しい設定をテストしてください。

傾き設定はペン先と消しゴムの両方に適用されます。傾きには方向性があり、ソフトウェアによってはブラシの向きなどの特性の操作に使用できます。

画面に触れずにペン先を画面から 5 mm 以内に近づけて、上側または下側のサイドスイッチを押すと、設定した機能が実行されます。

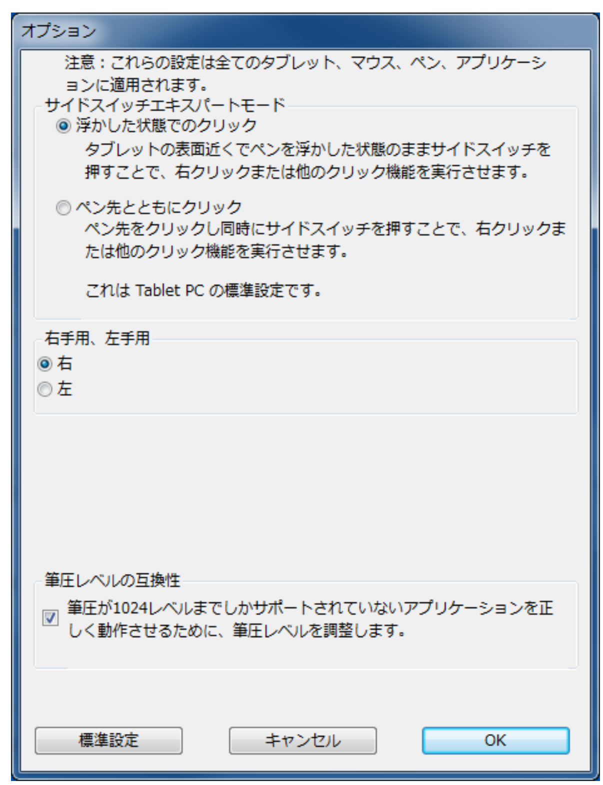
ヒント： 簡単にダブルクリックを行うには、サイドスイッチに「ダブルクリック」を設定します。

ペン先に割り当てた機能を変更するには、文字の上をダブルクリックします。グラフィックソフトウェアで線を描くためには、ペン先が「クリック」に設定されている必要があります。

「サイドスイッチエキスパートモード」で、クリック機能を実行する方法を変えることができます。

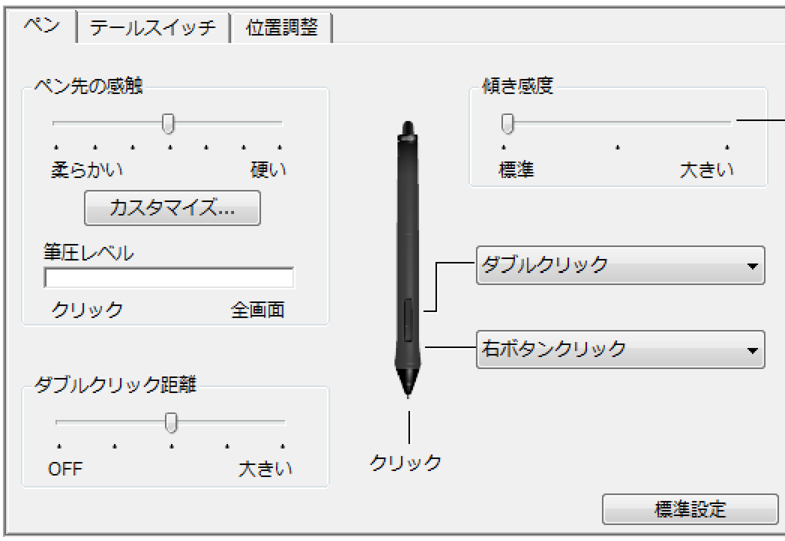
コントロールパネル下部の「オプション ...」ボタンをクリックして、「オプション」ダイアログを表示してください。

- 「浮かした状態でのクリック」を選択した場合、ペン先を画面に接触させずにクリック機能を実行することができます。
- 「ペン先とともにクリック」を選択した場合、サイドスイッチを押しながらペン先で画面に触れると、クリック機能が実行されます。「ペン先とともにクリック」は正確な位置でのクリックが可能で、タブレット PC の標準設定です。
- 任意で利き手を「右利き」、「左利き」から選びます。この設定はワコムデスクトップセンターから変更できます。
- 1024 段階の筆圧レベルしかサポートしていないソフトウェアで使用する場合は、必要に応じて「筆圧レベルの互換性」ボックスにチェックを付けてください。



傾き感度のカスタマイズ

電子ペンの傾き感度を調整する場合は、「ペン」タブを選択します。傾き感度では、傾き効果を得るためにどの程度電子ペンを傾ける必要があるかを設定します。感度が高くなるほど、少ない傾きで効果が得られます。



「傾き感度」のスライダをドラッグして設定します。傾き検出に対応したソフトウェアで新しい設定をテストしてください。

傾き設定はペン先と消しゴムの両方に適用されます。

傾きは電子ペンを動かす方向に反応します。ソフトウェアによっては、ブラシの方向やその他の特性をコントロールするために、傾きが使えます。

傾き検出に対応しているソフトウェアについてはワコムのホームページをご覧ください。

ファンクションキーおよびリングキーのカスタマイズ

ファンクションキーまたはリングキーのカスタマイズを行う場合は、該当するタブを選択します。キーや位置には、修飾キー、キーストロークなどの機能を割り当てることができます。以下はファンクションキーとリングキーの標準設定です。

重要：アプリケーションによっては、ファンクションキーの機能があらかじめ設定されている場合があります。詳細は、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使うを参照してください。

ファンクションキーを押した場合に働く機能を選択します。

ファンクションキーの機能は特定のアプリケーションに対して個別に設定することもできます。

詳細は、ファンクションキーの使い方を参照してください。

「エクスプレスビューを表示」のチェックを外すと、エクスプレスビューの表示が無効になります。



リングキーの位置を押した場合に働く機能を選択します。

これらの機能は特定のアプリケーションに対して個別に設定することもできます。



オンスクリーンコントロール

本機では、オンスクリーンコントロールによって画面から直接アプリケーションでよく使用する機能にアクセスできます。オンスクリーンコントロールで利用可能な設定はファンクションキーやリングキーの設定とほぼ同じです。

オンスクリーンコントロールには以下の 2 つのタイプがあります。

- 画面キー：個別設定でカスタマイズ可能な機能キーです。スクリーンキーはスクリーンキーパネルと呼ばれる 8 つのキーのグループで表示されます。
- スクリーントラックパッド：スクロールやズームなどが可能なスクリーン操作パネルです。スクリーントラックパッドは 2 本のトラックパッドパネルのグループで表示されます。

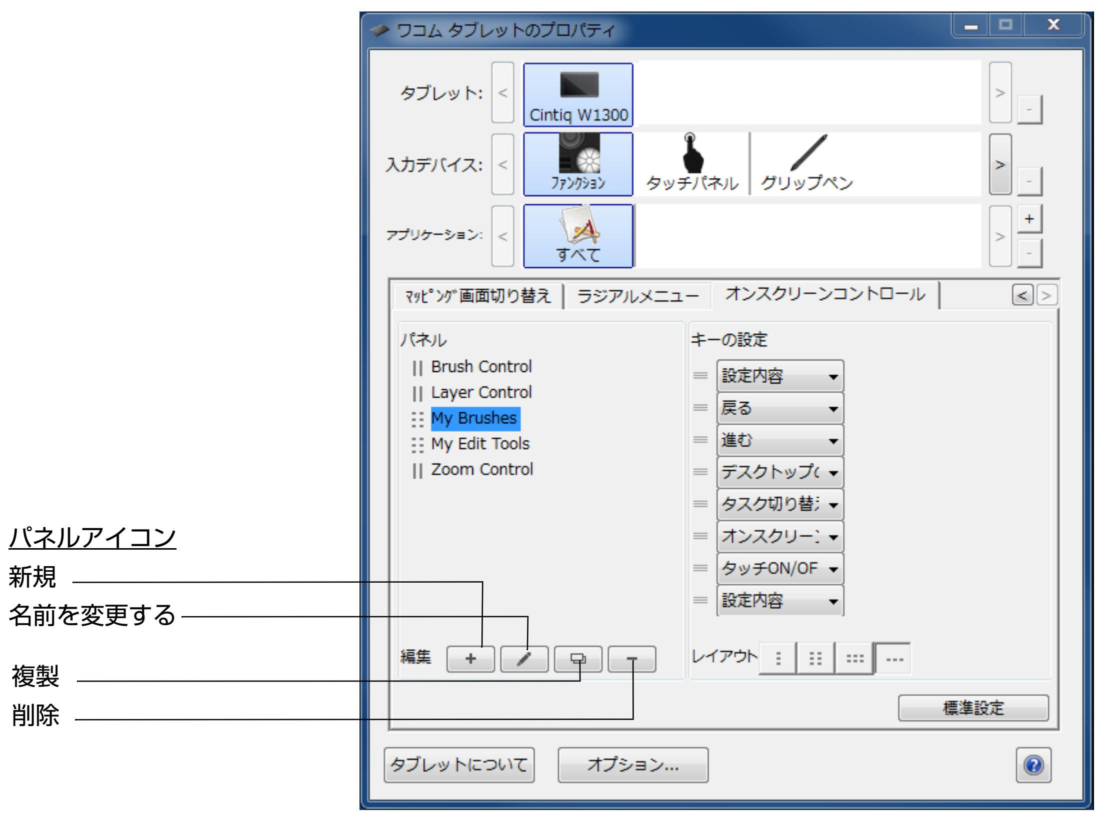
スクリーンキーとスクリーントラックパッドは画面上に水平または垂直に表示できます。スクリーンキーパネルまたはスクリーントラックパッドパネルを、特定のタスクまたはアプリケーションで使用する特定機能にカスタマイズできます。

グループ内に表示される、押しピン型のピンアイコンは、画面上にオンスクリーンコントロールの表示を開いたままにします。工具型のコントロールパネルアイコンを選択すると、コントロールパネルの「オンスクリーンコントロール」タブが開きます。

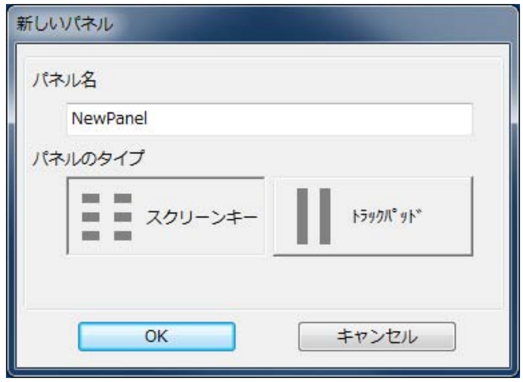
スクリーンキーまたはスクリーントラックパッドを作成する

新しいキーパネルまたはスクリーントラックパッドパネルを作成するには：

1. コントロールパネルのツール一覧から機能アイコンを選択し、「オンスクリーンコントロール」タブを選択します。



2. 「オンスクリーンコントロール」タブで「新規」アイコンを選択すると、「新規パネル」ダイアログボックスが表示されます。
3. 新しく作成するパネルの名前を入力します。

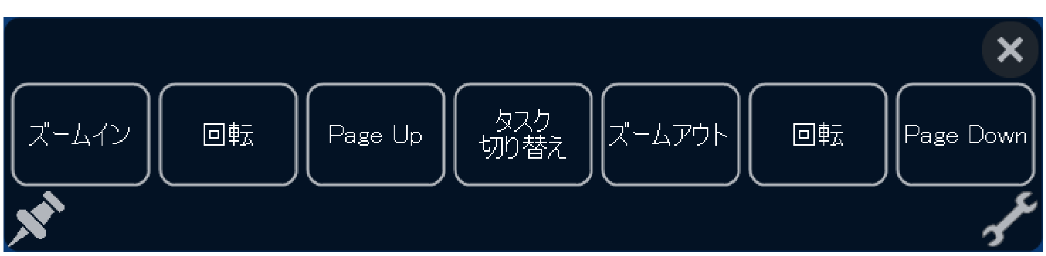


4. 「パネルタイプ」下の「スクリーンキー」または「スクリーントラックパッド」アイコンをクリックし、OK をクリックします。「パネル」一覧に、パネルのタイプを示すアイコンと共に新規パネル名が表示されます。

   スクリーンキーパネルの標準設定レイアウトは 1 × 8 個のキーの 1 行で表示され、1 つのキーが「設定内容」に割り当てられています（設定の表示とエクスプレスビュー参照）。標準設定では、残りのキーは「無効」になります。スクリーンキーパネルのサイズはパネル上の割り当てキー数に合わせて調整されます。

   スクリーントラックパッドパネルの標準設定レイアウトは 2 行のパネルで表示され、標準設定の「自動スクロール」/「ズーム」機能が割り当てられています。





5. スクリーンキーまたはスクリーントラックパッドパネルのレイアウトを変更するには、「オンスクリーンコントロール」タブのレイアウトエリアでパネルレイアウトのアイコンを選択してください。

スクリーンキーまたはスクリーントラックパッドをカスタマイズする

スクリーンキーパネルをカスタマイズするには：

1. 「パネル」一覧でパネル名を選択します。
2. 「キーの設定」のドロップダウンメニューからキーそれぞれの機能を選択します。キーそれぞれに割り当てられた機能が表示されます。
3. 割り当て機能としてキーストロークを選択した場合、キーストロークダイアログボックスが開いてキーストロークを入力できるようになります。（「キーストローク」参照）

補足：最大 8 つのキーに機能を割り当てできますが、スクリーンキーパネルそれぞれに少なくとも 1 つの機能を割り当てる必要があり、8 つすべてのキーを無効化することはできません。パネルには少なくとも 1 つの制御項目が表示される必要があります。

スクリーントラックパッドパネルをカスタマイズするには：

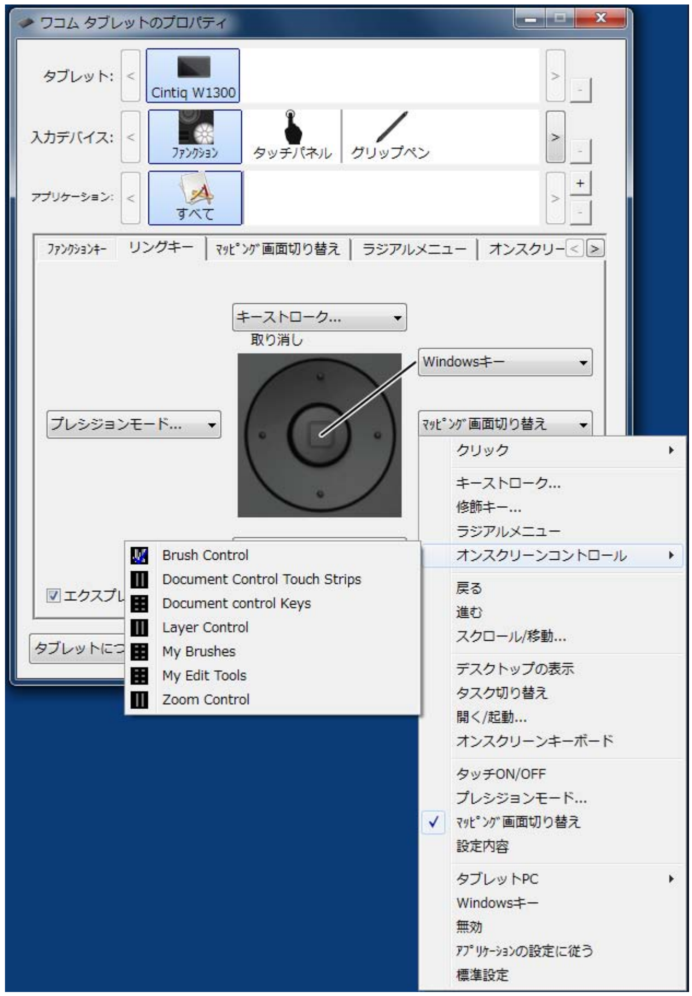
1. 「パネル」一覧でパネル名を選択します。
2. 「スクリーンットラックパッド」のドロップダウンメニューから 2 つのスクリーントラックパッドそれぞれの機能を選択します。スクリーントラックパッドには、機能の相対値を示す - および + の表示とともにそれぞれに割り当てられた機能が表示されます。

ファンクションキーまたはリングキーボタンにパネルを割り当てる

オンスクリーンコントロールを使用するには、まずファンクションキーまたはリングキーボタンを割り当てる必要があります。当該キーまたはリングキーボタンを押すと、割り当てられたオンスクリーンコントロールが開きます（ファンクションキー、リングキー、Windows ボタンの使い方参照）。

オンスクリーンコントロールパネルを割り当てるには：

1. パネルにファンクションキーまたはリングキーボタンのいずれを使用するか決定します。
2. 該当タブからファンクションキーまたはリングキーボタンを選択します。
3. 選択した項目のドロップダウンメニューから「オンスクリーンコントロール」を選択して、次にその項目に割り当てたいパネルを選択します。


ワコム タブレットのプロパティ
タブレット:
Cintiq W1300
入力デバイス:
ファンクション
タッチパネル
グリップペン
アプリケーション:
すべて
ファンクションキー
リングキー
マッピング画面切り替え
ラジアルメニュー
オンスクリー
キーストローク...
取り消し
Windowsキー
プレシジョンモード...
マッピング画面切り替え
クリック
キーストローク...
修飾キー...
ラジアルメニュー
オンスクリーンコントロール
戻る
進む
スクロール/移動...
デスクトップの表示
タスク切り替え
開く/起動...
オンスクリーンキーボード
タッチON/OFF
プレシジョンモード...
マッピング画面切り替え
設定内容
タブレットPC
Windowsキー
無効
アプリケーションの設定に従う
標準設定
Brush Control
Document Control Touch Strips
Document control Keys
Layer Control
My Brushes
My Edit Tools
Zoom Control

スクリーンキーまたはスクリーントラックパッドを使用する

すべてのスクリーンキーおよびスクリーントラックパッドアクションは電子ペン、または指を使用して実行できます。オンスクリーンコントロールにアクセスするには、関連付けられたファンクションキーまたはリングキーボタンを押してください。

スクリーンキーを使用するには：

任意の機能のキーを押します。ピンアイコンを選択してパネルを開いたままにしていない状態では、キーを押すとパネルが閉じます。

スクリーントラックパッドを使用するには：

- 値を増減するには、スクリーントラックパッドに沿って電子ペン、または指をスライドさせます。
- 少しずつ増減させる場合は、スクリーントラックパッドの端をタップします。
- 連続で増減させる場合は、スクリーントラックパッドの端を押します。

オンスクリーンコントロールの名前を変更するには：

1. パネル一覧から名前を変更するパネルを選択して「名称変更」アイコンを押します。
2. 新しい名前を入力して OK をクリックします。新しい名前が「パネル」一覧に表示されます。

オンスクリーンコントロールを複製するには：

1. 「パネル」一覧から複製するパネルを選択して「複製」アイコンを押します。
2. 新しい名前を入力します。この名前がすでに使用されている場合は、別の名前を選択するよう求めるメッセージが表示されます。
3. 必要であれば新しい名前を選択して、OK をクリックします。新しい名前がパネル一覧に表示されます。

オンスクリーンコントロールを削除するには：

1. パネル一覧から削除するパネルを選択して「削除」アイコンを押すと、「削除」ダイアログボックスに選択したパネルの名前が表示されます。
2. 「OK」または「キャンセル」をクリックします。

   補足：「パネル」一覧からすべてのパネルを削除することはできません。

オンスクリーンコントロールの表示を変更する

画面上で直接、オンスクリーンコントロールの場所とレイアウトを変更できます。

- 電子ペン、または指でパネル上部のドラッグバーを押しながら、画面上のパネルを移動します。新しい位置にドラッグしたらドラッグバーを放します。
- 「オンスクリーンコントロール」タブのアイコンをクリックして、パネルを水平または垂直位置に変更します。
- 「オンスクリーンコントロール」タブで、メニューの表示される順番を変更できます。

オンスクリーンコントロールを管理する

画面上のキーまたはスクリーントラックパッドパネルを変更するには、以下の手順を行ってください。

- 「タブレット設定ファイルユーティリティ」の「バックアップ」機能で作成したパネルを保存します（タブレット設定ファイルの管理参照）。
- 「オンスクリーンコントロール」タブの「標準設定」ボタンをクリックして、ユーザ設定のパネルをすべて削除しパネルを標準設定に戻します。

ボタンの機能

作業しやすいように、本機の設定をカスタマイズできます。コントロールパネルから簡単に、電子ペンのスイッチ、ファンクションキー、リングキー、windows ボタン、ラジアルメニューの各デバイスボタンの設定を変更できます。

機能名	内容
クリック	
• クリック	クリックを行います。常にポインタの操作とクリックができるよう、少なくともひとつのスイッチはクリック機能に割り振るようにしてください。
• 右ボタンクリック	右クリックを行います。
• 中ボタンクリック	中ボタンクリックを行います。
• ダブルクリック	ダブルクリックを行います。ペン先で 2 度たたく代わりにこの機能を使用すると、ダブルクリック操作が簡単になります。
• クリックロック	サイドスイッチを 1 回押すと、マウスの左ボタンを押してそのまま押し続けている状態になります。もう一度押すと、左ボタンから指を放す動作になります。もう一度押すと、左ボタンから指を放す動作になります。クリックロックは、オブジェクトをドラッグする、またはテキストブロックを選択する場合に便利です。
• 第 4 ボタンクリック	マウスの第 4 ボタンを押すことに相当します。
• 第 5 ボタンクリック	マウスの第 5 ボタンを押すことに相当します。

機能名	内容
キーストローク	キーストロークを割り当てできます。このオプションを選択すると、「キーストロークを登録」ダイアログボックスが表示されます。

1 つまたは複数のキーストロークを組み合わせて「キー」ボックスに入力できます。キーストロークには、文字、数、F3 のようなファンクションキー、修飾キー（[Shift]、[Alt]、[Ctrl]）を組み合わせることができます。「特殊キー」メニューから、特別なキーストローク、またはキーストロークの組み合わせを選択することもできます。

キーストロークを入力したら、「OK」をクリックします。

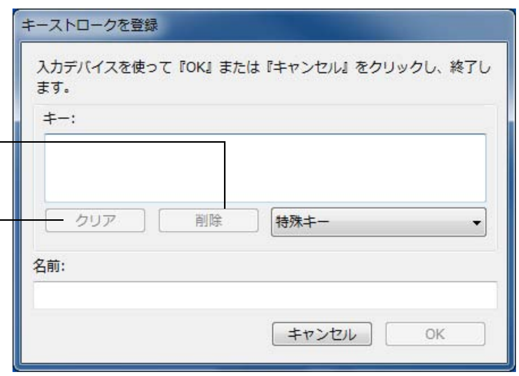
> 重要：[Enter] キーは、キーストロークとして定義できますが、「キーストロークを登録」ダイアログボックスの「OK」を選択する場合に使用できません。必ず電子ペンまたはタッチ操作で「OK」ボタンをクリックしてください。

キーストローク定義に名前を入力します。名前は、それぞれコントロールまたはラジアルメニューに表示されます。

キーストローク機能は、ソフトウェアごとに設定できます。特定のソフトウェアに対する設定を参照してください。

キーストローク入力ボックスに入力した最後の内容を削除します。

入力ボックスをクリアします。



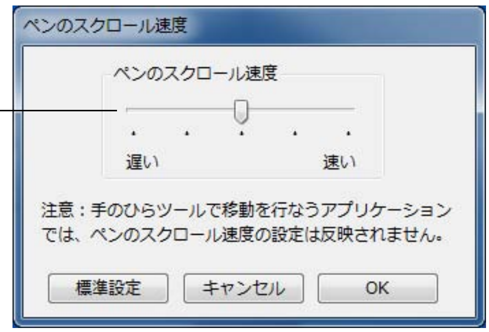
各アプリケーションでサポートされているショートカットキーについて確認するには、アプリケーションに付属している取扱説明書を参照してください。

機能名	内容
修飾キー	修飾キー（[Shift]、[Alt]、[Ctrl] キー）を割り当てできます。多くのソフトウェアでは、修飾キーを使用してメニューやツールを切り替えます。

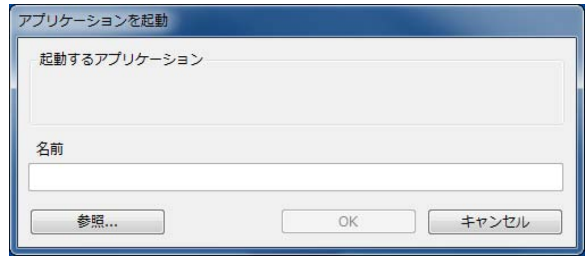
1 つ以上のキーオプションを選択します。

「クリック」オプションの 1 つをチェックすると、スイッチを押すとマウスのクリックが実行されるようになります。



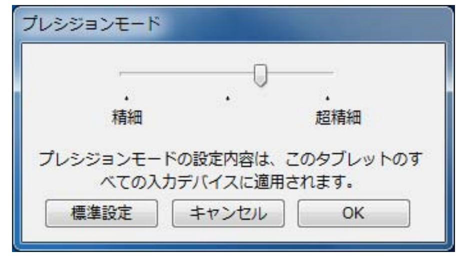
<table>
<tr><th>機能名</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>ラジアルメニュー</td><td>画面上にラジアルメニューを表示します。ラジアルメニューの各階層メニューは、8 つの項目から構成され、オプション機能を設定できます。</td></tr>
<tr><td>戻る</td><td>ブラウザで「戻る」機能を実行します。</td></tr>
<tr><td>進む</td><td>ブラウザで「進む」機能を実行します。</td></tr>
<tr><td>スクロール / 移動</td><td>「スクロール / 移動」に設定されたデバイスボタンを押して、本機の画面上でペン先を滑らせるように動かすと、文書または画像をウィンドウ内で自由に移動させることができます。


「スクロール / 移動」を選択すると、「ペンのスクロール速度」ダイアログボックスが画面に表示されます。
• 設定を遅くすると、スクロールの速度が遅くなります。画像を正確にコントロールしなければならないような細かい作業に有効です。
• 電子ペンが動く方向に従って文書や画像がスクロール、または移動します。
• 目的位置までスクロールまたは移動させたら、デバイスボタンから指を離すか、ペン先を画面から離してください。
• ソフトウェアによっては、文書がペン先の動きにつれて正確にポインタに追従するものと、ポインタと同じ方向に文書が移動するのみのものがあります。補足：手のひらツール（ピクセルレベル）で移動を行うソフトウェアでは、スクロール速度の設定が反映されません。</td></tr>
<tr><td>デスクトップを表示</td><td>開いているウィンドウをすべて最小化して、デスクトップを表示します。</td></tr>
<tr><td>タスク切り替え</td><td>起動中のソフトウェアの中で、前面に表示させたいソフトウェアをウィンドウ切り替えダイアログボックスから選択できます。</td></tr>
</table>

機能名	内容
開く / 起動	ダイアログボックスを開いて、起動する特定のソフトウェア、ファイル、またはスクリプトを選択できます。 「参照」ボタンをクリックして、起動するソフトウェア、ファイル、スクリプトを選択します。「名前」ボックスに、選択したソフトウェアが表示されます。 「OK」をクリックします。  ダイアログボックスが閉じ、選択した「開く / 起動 ...」オプションがボタンオプションとして割り当てられます。デバイスボタンを押すだけで、割り当てたオプションが実行されます。 ラジアルメニューに選択した場合、ラジアルメニューリストに表示されるようになります。
オンスクリーンキーボード	この機能が割り当てられたデバイスボタンを押すと、画面上にキーボードが表示されます。すでに表示されている場合は、デバイスボタンを押すとキーボードは閉じます。
筆圧一定（ペンのみ）	デバイスボタンを放すまで、筆圧を一定に保ちます。 たとえば、ブラシが好みのサイズになるまで、筆圧を変えながら線を描きます。次にボタンを押すと、ボタンを放すまで同じブラシのサイズで描き続けることができます。

機能名	内容
プレシジョンモード	現在のペン先位置周辺のマッピングの比率を変更します。電子ペンを大きく動かしても画面上のポインタはそれほど移動しません。この機能は、電子ペンやブラシストロークを精密に操作しなければならない場合に便利です。

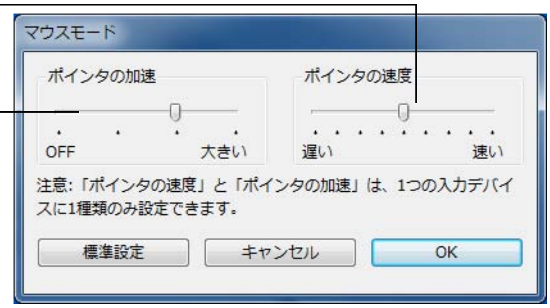
この機能をデバイスボタンに割り当てると「プレシジョンモード」ダイアログが開き、プレシジョン設定を調整できます。

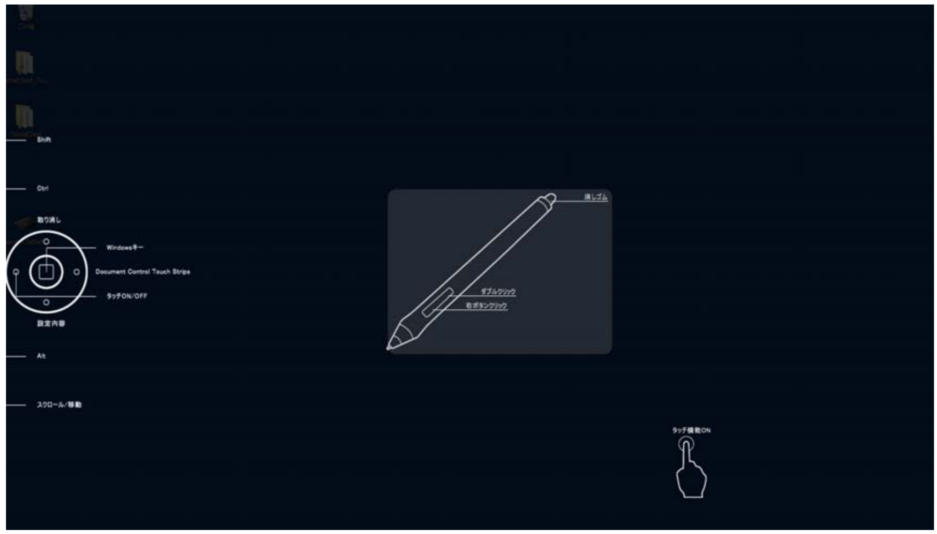


これを有効にするには次の操作を行ってください。

- 常に有効にする場合は、機能を割り当てたデバイスボタンを押して、「プレシジョンモード」に切り替えます。再度同じデバイスボタンを押せば通常のマッピングに戻ります。
- 一時的に有効にする場合は、機能が割り当てたデバイスボタンを長押しします。デバイスボタンを離すと通常のマッピングに戻ります。

「マウスモード」で使用している場合、ポインタの動作について、加速は「OFF」、速度は「遅い」で動作するように調整されます。

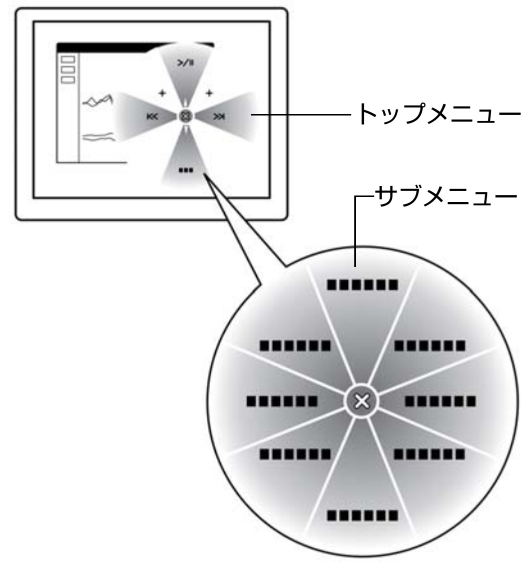
機能名	内容
ペン⇔マウスモード（ペンのみ）	その他のディスプレイを本機に接続している場合に、ペンモードとマウスモード（通常のマウスのように動いた方向と距離に応じてポインタが移動）を切り替えます。これにより、マウスモードで電子ペンを使って、他のディスプレイを操作することができます。 ペンのボタンを「ペン⇔マウスモード」に設定すると、「マウスモード」ダイアログボックスが表示され、マウスの加速度とスピードを調整できます。 ポインタの速度を設定します。 ポインタの加速を設定します。  「マウスモード」はコントロールパネル内の別のダイアログからでも開き、設定できます。「ポインタの加速」と「ポインタの速度」の設定は、カスタマイズ中の電子ペンとソフトウェアにつき、1 つだけしか設定できません。 これらのマウスモード設定は、システム設定からは独立しています。コントロールパネルで設定を変更しても、システム側の同内容の項目の設定には影響しません。しかし、システム側で同内容の項目の設定を変更すると、本機の設定に影響する場合があります。
消しゴム	このデバイスボタンを押すと、「消しゴム」機能に対応したソフトウェアでペン先を消しゴムのように使用できます。これはテールスイッチの標準設定です。

機能名	内容
設定内容	現在のファンクションキー、リングキー、電子ペン設定を画面上に表示します。それぞれの現在の機能が表示されます。  表示されている各項目をクリックすると、対応するコントロールパネルのタブが開きます。続いて必要な設定変更を行うことができます。 この機能が割り当てられたデバイスボタンをもう一度押すか、画面の各項目以外の領域をクリックすると表示を閉じます。 ご使用の製品機種によって設定は異なる場合があります。
タブレット PC	
• Tablet PC 入力パネル	この機能に設定したデバイスボタンを押すと、Tablet PC 入力パネルが開きます。
• Windows Journal	Windows Journal を開きます。
• Tablet PC の設定に従う	Windows の「Tablet PC 設定」および「ペンと入力デバイス」コントロールパネルの設定に基づいてデバイスボタン機能を設定します。
無効	デバイスボタン機能を無効にします。
アプリケーションの設定に従う	ソフトウェアにデバイスボタンの数の情報を送ります。この機能は、組み込みサポートを搭載した CAD プログラムなどのソフトウェア用です。
標準設定	デバイスボタンの設定を標準設定に戻します。

ラジアルメニューの使い方と設定

ラジアルメニューとは、編集、ナビゲーション、メディアコントロールなど多くの機能を素早く実行できるポップアップメニューです。

- デバイスボタンに「ラジアルメニュー」を設定します。ボタンを押すと、ラジアルメニューがポインタの位置を中心に表示されます。
- ラジアルメニューは円形で表示され、階層で構成されています。メニューの各レベルは 8 つの項目で構成され、各項目にはさまざまな機能と選択可能なオプションが設定できます
- メニューをクリックして選択します。追加オプションを示すサブメニューが表示される場合もあります。
- ラジアルメニューからオプション機能を選択すると、メニューは終了します。
機能を選択せずにメニューを終了する場合、ラジアルメニュー中央の「X」ボタンをクリックするか、またはオプション機能が割り当てられていない空の項目をクリックしてください。もう一度押すと、またメニューが表示されます。
- ラジアルメニューを閉じずに選択を行うには、ラジアルメニューのボタンを長押しします。

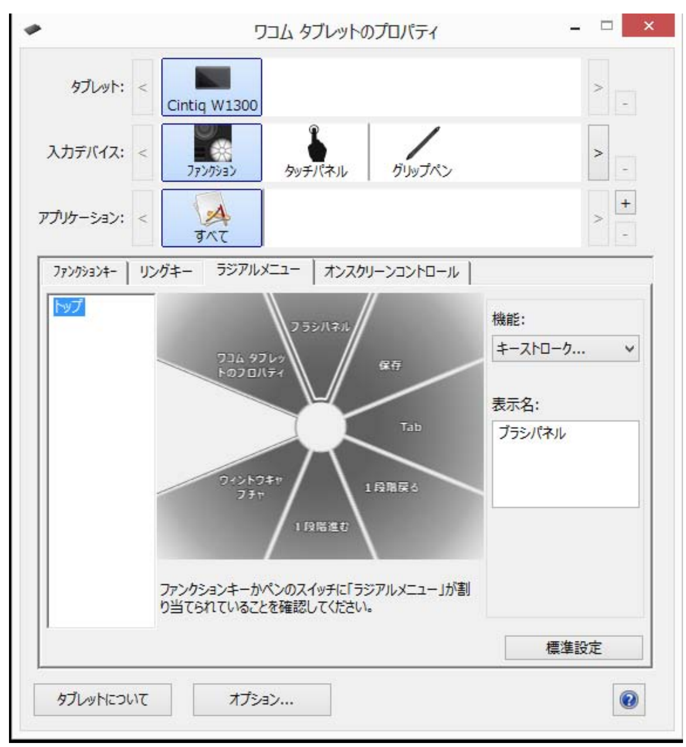


コントロールパネルの「ラジアルメニュー」タブで、ラジアルメニューに割り当てるオプション機能を設定します。

1. メニュー項目を選択します。
2. 「機能」でメニュー項目に機能を割り当てます。
必要に応じて「表示名」で名前を変更できます。
3. さらにカスタマイズする場合は、メニューまたはサブメニューを選択して同様の操作を行います。

ヒント:

- 「機能」メニューから「サブメニュー」を選択すればメニュー項目のカスタムサブメニューを作成できます。
- 「表示名」が複数行になるときは [ENTER (RETURN)] キーを押して改行してください。



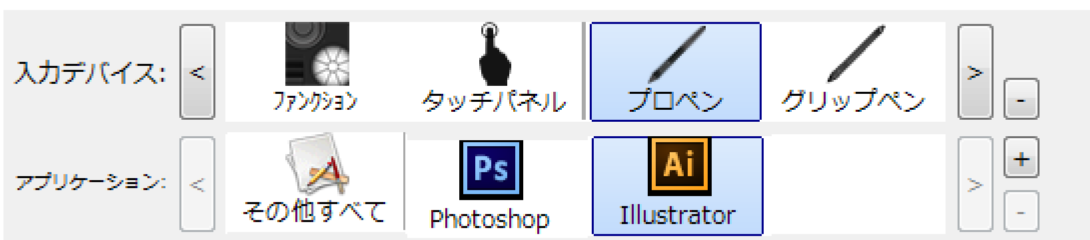
特定のソフトウェアに対する設定

使用する入力デバイスは、特定のソフトウェア向けにカスタマイズできます。たとえば、あるソフトウェアでは、ペン先の筆圧を硬めに設定して、他のソフトウェアでは柔らかく設定できます。「アプリケーション」リストにアプリケーション（ソフトウェア）を追加し、次に追加したソフトウェアに対して入力デバイスの設定をカスタマイズします。

- ソフトウェアごとの設定を行わずに、入力デバイスを「入力デバイス」リストから選択した場合、「アプリケーション」リストには「すべて」アイコンが表示されます。「すべて」アイコンは、ソフトウェアすべてに入力デバイスの設定を適用します。以下の例では、「プロペン」には特定のソフトウェアに対する設定は行われていませんので、「すべて」アイコンが表示されています。「プロペン」の設定はすべてのソフトウェアに共通です。



- 特定のソフトウェアに対する設定が加わると、「すべて」アイコンは「その他すべて」に変わります。新しく追加されたソフトウェアのアイコンが追加されます。



上記の例では、特定のソフトウェアに対する設定が、「プロペン」に追加されています。「その他すべて」アイコンを選択して「プロペン」の設定を変更する場合、その変更は、「アプリケーション」リストに追加したソフトウェア以外のすべてのソフトウェアで適用されます。ソフトウェアのアイコンを選択して「プロペン」の設定を変更する場合は、そのソフトウェアを使用する間のみ設定が適用されます。

特定のソフトウェアに対する設定を作成すると、選択した入力デバイスとソフトウェアに対して個別のグループが作成されます。詳細については次のセクションをご覧ください。

特定のソフトウェアに対する設定を作成する
特定のソフトウェアに対する設定を変更する
特定のソフトウェアに対する設定を削除する

ヒント：起動中のアプリケーション内でのファンクションキー、リングキー、Windows ボタン、電子ペンの機能設定を確認するには、デバイスボタンの 1 つに「設定内容」を割り当ててください。

特定のソフトウェアに対する設定を作成する

まず特定ソフトウェアの設定を作成したい製品と入力デバイスを選択します。



「アプリケーション」リストで［+］ボタンをクリックします。

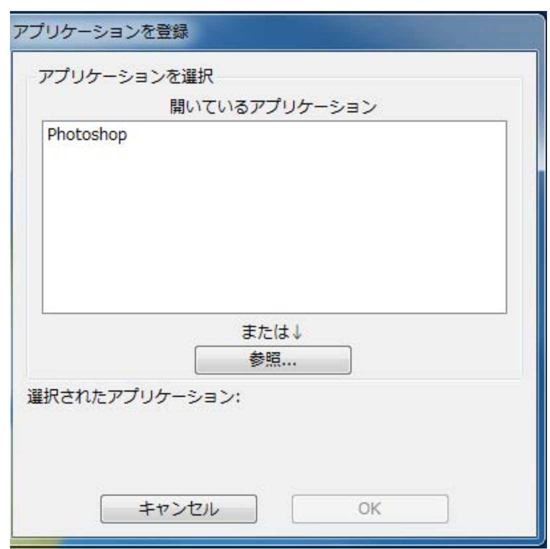
ソフトウェアを選択する方法を次から選択します

- 設定を作成するソフトウェアを起動します。次に「開いているアプリケーション」ボックスからそのソフトウェアを選択します。
- 「参照」を選択して、本機にインストールされているソフトウェアの実行ファイルを選択します。

選択したソフトウェアの名前が表示されます。

完了する場合は「OK」をクリックしてください。

補足： 2 つのソフトウェアの実行ファイル名が同じであれば、この 2 つのソフトウェアはカスタマイズされた設定を共有します。



ソフトウェアを追加したあとで対象入力デバイスを「入力デバイス」リストから選択すると、追加したソフトウェアのアイコンが「アプリケーション」リストに表示されます。追加したソフトウェアを選択して、次に入力デバイスと追加したソフトウェアに対してタブの設定をカスタマイズします。

特定のソフトウェアに対する設定を作成すると、この方法でカスタマイズされなかったソフトウェアには「その他すべて」の入力デバイスの設定が適用されます。

ヒント：任意のソフトウェアに対して設定を作成してみてください。それにより電子ペンが使いやすくなったら、さらに、別のソフトウェア向けにも設定をしてみてください。

特定のソフトウェアに対する設定を変更する

入力デバイスの設定を特定のソフトウェア用に変更するには、入力デバイスとソフトウェアを選択し、表示されるタブの設定をカスタマイズします。

特定のソフトウェアに対する設定を削除する

特定のソフトウェアに対する設定を削除するには、

1. 「入力デバイス」リストで、特定のソフトウェアに対する設定を削除したい入力デバイスを選択します。次に「アプリケーション」リストから削除するソフトウェアを選択します。
2. 「アプリケーション」リストで [-] ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスから「削除」をクリックして選択を確定します。選択したソフトウェアは、入力デバイスの設定とともにリストから削除されます。

ヒント：ある入力デバイスから特定のソフトウェアに対する設定をすべて削除するには、「入力デバイス」リストから入力デバイスを削除します。
続いて入力デバイスをリストの上に戻すと、標準設定の状態で「入力デバイス」リストに追加されます。この方法では、カスタマイズされた「ファンクション」設定は削除できません。

複数の入力デバイスで使う

コントロールパネルは、入力デバイスの設定をカスタマイズし、現在の設定を確認することができます。コントロールパネルを開く際に使用した入力デバイスが自動で選択され、その入力デバイスに対応したタブが表示されます。

「入力デバイス」リストには、「ファンクション」と本機で使用された各種入力デバイスのアイコンが表示されます。

特定のソフトウェアに対する設定が追加されていない場合は、「すべて」アイコンが表示され入力デバイスの設定がすべてのソフトウェアに適用されます。



設定を変更する入力デバイスを選択します。

タブの設定は選択した入力デバイスとソフトウェアのみに適用されます。

選択した入力デバイスを削除します。

リストに項目がひとつしかない場合はこのボタンは機能しません。

「ファンクション」アイコンは削除できません。

「入力デバイス」リストに別の入力デバイスを追加するには、本機でその入力デバイスを使用してください。

「入力デバイス」リストに追加されている入力デバイスを選択すると、対応するタブ設定が表示されます。タブ設定に対して行った変更はこのときに適用されます。

同じ入力デバイスがすでに追加されている場合は、新しい入力デバイスがその設定を引き継ぎます。この設定は新しく追加した入力デバイスでカスタマイズ可能です。同じ入力デバイスには同じ設定が使用されます。

「入力デバイス」リストから選択した入力デバイスを削除するには、「入力デバイス」リストの [-] ボタンをクリックしてください。表示されるダイアログボックスから「削除」をクリックして選択を確定します。選択した入力デバイスは、作成済みのカスタム設定とともにリストから削除されます。削除した入力デバイスは、再び画面に近づけることで「入力デバイス」リストに戻すことができます。

タブレットリスト内のタブレット名を変更する

コントロールパネルの「タブレット」リストで本機のアイコンをダブルクリックし、タブレットのダイアログボックスのアイコンに新しい名前を入力します。

トラブルシューティング

次のセクションおよび表には、本機の電子ペンタッチ入力の使用時に発生する可能性のある問題と推奨される解決方法を示しています。ワコムホームページにも、よくある質問と回答、製品マニュアル、ドライバアップデート、カスタマーケアサポートのオプションをご確認いただけます。

Windows 8 のサポートについては http://support.microsoft.com/find-solutions/windows/windows-8 を参照してください。

一般的な機能

1. 電子ペンまたはタッチ入力が正しく機能しない場合は、一般的な問題を参照してください。
2. 更新については「補足」リンクをチェックしてドライバダウンロード画面をご覧ください。
3. 本書のよくあるご質問と回答、またはワコムのホームページから製品サポート情報をご確認ください。
4. 本機と新しいハードウェアまたはソフトウェアで互換性の問題が発生した場合は、ソフトウェアアップデートの取得を参照して最新版のタブレットドライバのダウンロード情報をご確認ください。ワコムでは定期的に対応するドライバの更新を行い、新製品との互換性を維持しています。
5. 本書で解決のポイントを読んでも、問題が解決しそうにない場合、ワコムサポートセンターにお問い合わせください。サポート情報については、テクニカルサポートをご覧ください。

操作と入力デバイスのテスト
テクニカルサポート
ソフトウェアアップデートの取得

操作と入力デバイスのテスト

電子ペンや本機の機能が正常に動作しない場合は、割り当てられている機能を確認するか、それぞれの設定をリセットしてください。

電子ペンの標準設定を簡単に初期設定に戻すには、コントロールパネルの「入力デバイス」リストでペンを選択し [-] ボタンをクリックして、リストから「ペン」を削除します。続いて電子ペンのペン先を本機の画面に近づけると、「ペン」が再び標準設定で「入力デバイス」リストに追加されます。

- コントロールパネルを開き、「タブレットについて」ボタンをクリックします。表示されたダイアログボックスで「診断 ...」をクリックすると、本機とご使用の入力デバイスに関する情報が表示されます。
- 本機に複数のディスプレイまたはタブレットが接続されている場合は、「タブレット情報」欄でテスト中の項目を選択してください。
- ディスプレイ設定をテストするには、「スタート」画面から「Intel Graphics & Media」のタイルを選択して必要に応じて設定を調整します。「スタート」画面に「Intel Graphics & Media」タイルが表示されない場合は、Windows のコントロールパネルをチェックしてインストールされているかどうか確認してください。インストールされていない場合は、Intel Control Panel ドライバをインテルのホームページから再インストールできます。

- コントロールパネルを開き、「タブレットについて」ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスから「診断」をクリックします。「診断」ダイアログボックスには本機とご使用の入力デバイスに関する情報が表示されます。



- 複数のペンタブレットを使用している場合は、「タブレット情報」欄でテスト中の製品を選択してください。
- 本機および電子ペンのテスト時に「診断」ダイアログボックスに表示される情報を使用してください。

補足： 入力デバイスのデバイスボタンに「ラジアルメニュー」または「開く / 起動」が割り当てられている場合、デバイスボタンを押すとその機能が実行されます。このような場合、テストの前にデバイスボタンの機能を変更してください。

ファンクションキーおよびリングキーのテスト
電子ペンのテスト

ファンクションキーおよびリングキーのテスト

以下の手順を用いて機能をテストしてください。

1. 「診断」ダイアログボックスを開き、それぞれのファンクションキーまたはリングキーをテストしながら「タブレット情報」欄を観察します。必ず「タブレット情報」欄からテスト中のタブレットを選択してください。
2. ファンクションキーとリングキーをひとつずつ押してテストします。キーやボタンを押す度に、テスト対象のキーに応じて、「左ボタン」または「右ボタン」カテゴリーの横に対応する番号が表示されます。
3. 終了したら、「閉じる」ボタンを押してダイアログボックスを終了します。

重要：ソフトウェアによっては、ファンクションキーやリングキーの機能があらかじめ設定されている場合があります。ファンクションキーまたはリングキーのテストを行う際は、タブレットのコントロールパネル以外の起動中のソフトウェアをすべて閉じるようにしてください。詳細は、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使うを参照してください。

電子ペンのテスト

1. 「診断」ダイアログボックスを開いて、「入力デバイス情報」欄を確認しながらペン先を画面から 5 mm 以内に近づけます。「読み取り高さ」、「入力デバイス名」、「入力デバイスのタイプ」、「シリアル No.」が表示されます。必ず「タブレット情報」欄からテスト中のタブレットを選択してください。
2. 本機の操作エリアで電子ペンを移動させると、X 座標と Y 座標のデータの値が、ペン先の位置を反映して変化します。
   - 画面をペン先でクリックします。「スイッチ」の状態と「筆圧」の値が変化します。筆圧は圧力が全くかかっていない状態から最大圧力をかけた状態まで、0% から 100% の範囲で変化します。
   - 画面にペン先を押し当てずにサイドスイッチを押すと「スイッチ」の状態が変わります。「プロペン」の場合は、両方のスイッチでこれを行ってください。

電子ペン スイッチの状態	ペン先 = 1 サイドスイッチ（低位置）= 2 サイドスイッチ（高位置）= 3 テールスイッチ（消しゴム）= 1
エアブラシ スイッチの状態	ペン先 = 1 サイドスイッチ = 2 テールスイッチ（消しゴム）= 1

   - 画面にテールスイッチを押し当てます。「スイッチ」の状態と「筆圧」の値が変化します。筆圧は圧力が全くかかっていない状態から最大圧力をかけた状態まで、0% から 100% の範囲で変化します。
   - オプションのエアブラシの場合は、ホイールを前に進めます。いっぱいまで進めると「ホイール」の値がおよそ 0 まで低下します。次にホイールを反対方向に進めます。いっぱいまで戻すと「ホイール」の値はおよそ 1000 まで上昇します。

3. X 軸方向の傾きをテストします。「X 方向の傾き」の値は、電子ペンを垂直位置から右方向へ傾けると、0 から +60 まで変わります。電子ペンを垂直位置から左方向へ傾けると、「X 方向の傾き」の値は、0 から - 60 まで変わります。
4. Y 軸方向の傾きをテストします。「Y 方向の傾き」の値は、電子ペンを垂直位置からペンタブレットの手前に傾けると、0 から +60 まで変わります。電子ペンを垂直位置からペンタブレットの向こう側へ傾けると、「Y 方向の傾き」の値は、0 から -60 まで変わります。
5. オプション品のアートペンをテストする場合は、ペン先を画面に押し当て、ペン軸を中心にゆっくりと回転させてペンの回転をテストします。ペンを回転させるにつれ、「回転」の値が変化します。
6. 終了したら、「閉じる」ボタンを押してダイアログボックスを終了します。

一般的な問題

画像が表示されない。	• 本機を起動して、十分な電池残量があるか確認してください（電池ステータスランプが緑）。 • 本機を電源に接続している場合は、LED が橙（充電中）であることを確認してください。 • 本機を再起動します。 • 1) 電源スイッチを約 5 秒間長押しする。 2) 数秒待機する。 3) 電源スイッチを 2 ～ 3 秒間長押しする。 • 「色の具合がおかしい」（下記）も参照してください。
同じ画像が長時間表示された後、残像が短時間続く。	スクリーンセーバーまたはコンピュータの省電力機能を使用することをお勧めします。
色の具合がおかしい、または白色がきれいに表示されない。	Intel Graphics & Media Control Panel を使用して、色、読取分解能、明るさなどの設定を調整します。Intel Graphics & Media Control Panel は「スタート」画面の「Intel Graphics & Media」タイルから開けます。 「Intel Graphics & Media」タイルが見つからない場合は Windows のコントロールパネルからインストールされているか確認してください。インストールされていない場合は、Intel Control Panel のドライバをインテルのホームページからダウンロードできます。

本機の USB ポートに接続したデバイスが機能しない。	• USB デバイスを別の USB ポートに差し込んでテストします。 • デバイスマネージャで接続したデバイスが正常に認識されているかを確認します。 • 以上の操作を行っても USB デバイスが正常に機能しない場合は、各 USB デバイスのメーカにお問い合わせください。
電子ペンがマウスモードでのみ動作する。筆圧機能を使って線が描けない。	タブレットドライバがインストールされていないか、または適切に読み込まれていません。 • タブレットドライバがインストールされていることを確認してください。 • 「位置調整」タブの「デジタルインク機能を使う」チェックボックスが選択解除されていることを確認してください。 • 必要があれば、ワコムホームページから正しいドライバをダウンロードしてドライバソフトウェアを再インストールします。
筆圧機能が使えない。	• ソフトウェアによっては、電子ペンを使う前に筆圧機能をオンにする必要があるものもあります。お使いのソフトウェアが筆圧に対応しているかを確認してください。 • 「位置調整」タブの「デジタルインク機能を使う」チェックボックスが選択解除されていることを確認してください。
クリックが利かない。 電子ペンがあらゆるものを選択して、止まらない。	コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」を柔らかくしてください。 コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」ライダを「硬い」方へ移動させるか、「カスタマイズ」を選択し、「クリック圧」の設定を大きくします。正常に戻らない場合は、操作と入力デバイスのテストを参照してください。
ダブルクリックが利かない。	• 同じ場所をすばやく 2 度軽くたたいてみてください。 ワコムではサイドスイッチを使ってダブルクリックすることをお勧めしています。 • コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。 「ダブルクリック距離」を長くするか、「ペン先の感触」を柔らかく設定してください。 • ファンクションキーを「ダブルクリック」に設定します。 • 1 回のクリックでプログラムが起動するように設定することができます。クリックを参照してください。

消しゴムがあらゆるものを選択する。消し続ける。	• コントロールパネルを開き、「消しゴム」タブを選択します。「消しゴムの感触」スライダを「硬い」方へ移動させるか、「カスタマイズ」を選択し、「クリック圧」の設定を大きくします。 • 正常に戻らない場合は、操作と入力デバイスのテストを参照してください。
ペンのストロークまたはインクのストロークの開始が遅れる。	• コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択し、「ダブルクリック距離」を下げます。 • 「位置調整」タブの「デジタルインク機能を使う」チェックボックスが選択解除されていることを確認してください。 • ダブルクリックアシストをオフにするため、「ダブルクリック距離」のスライダを「オフ」位置に動かします。
ペン先を強く押さなければ、クリックや描画、書き込みができない。	• コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。 • 「ペン先の感触」スライダを「柔らかい」方へ移動させるか、「カスタマイズ」を選択し、「筆圧感度」と「クリック圧」の設定を小さくします。
ペン先が利かない。	• 必ず本機に付属の電子ペンまたは本機に対応した電子ペンをご使用ください。付属品以外の電子ペンは、本機では正常に動作しない場合がありますので、使用しないでください。 • コントロールパネルの「ペン」タブで、「クリック」機能がペン先に割り当てられていることを確認してください。
ペン先とポインタがずれる。	コントロールパネルを開き、「調整開始 ...」を選択します。ペン先の位置調整に進んでください。
入力デバイスの機能設定を変更しても反映されない。	使用中の入力デバイスとソフトウェアに対して設定変更を行っているか確認してください。特定のソフトウェアに対する設定と複数の入力デバイスで使うも参照してください。
電子ペンのサイドスイッチが利かない。	• 必ず本機に付属の電子ペンまたは本機に対応した電子ペンをご使用ください。付属品以外の電子ペンは、本機では正常に動作しない場合がありますので、使用しないでください。 • ペン先が画面の読取可能範囲から 5 mm 以内にある状態でサイドスイッチを押してください。ペン先で画面を押さずに行います。 • コントロールパネルで、サイドスイッチが使用中のソフトウェアと電子ペンで実行する機能に設定されていることを確認してください。 • 「サイドスイッチエキスパートモード」も確認してください。「ペン先とともにクリック」が選択されている場合は、クリック操作を行うためには、サイドスイッチを押しながらペン先を画面にタッチさせる必要があります
ポインタは動かせるが、ペン先を画面に置いてもペン先の位置にジャンプせず、ペン先の動きに連動しない。	• コントロールパネルを開きタブレットドライバが正しくインストールされているか確認します。インストールされていない場合は、エラーメッセージが表示されます。 • 電子ペンのサイドスイッチでペンモードとマウスモードの切り替えを行うよう設定している場合は、本機がペンモードで作動しているか確認してください。
マルチディスプレイ環境で本機を使用している場合に、電子ペンで他のディスプレイを操作できない。	マウスモードで電子ペンを使って、他のディスプレイを操作することができます。マウスモードにするには、まず電子ペンボタンを「ペン⇔マウスモード」に設定します。次にボタンを使用してペンモードとマウスモードを切り替えます。

描いた線とポインタの位置が合わない。	• 電子ペンがペンモードに設定されていないと正しく機能しません。電子ペンがマウスモードに設定されていないことを確認してください。 • ペンモードに設定されても問題が解決しないときは、環境設定ファイルが壊れている可能性があります。Windows での問題またはテクニカルサポートのトラブルシューティング指示に従って、新しい環境設定ファイルを作成してください。
本機が省電力状態にならない。	電子ペンを使用しないときは、画面上に電子ペンを置いたままにしないでください。置いたままにすると本機はデータを送り続け、スリープ状態になりません。
タッチ入力を使用すると、画面のポインタが前の位置に戻ります。	電子ペンを使用しないときは、専用のペンケースに入れるか、本機の近くに横にして置いてください。電子ペンは画面上に置いたままにしないでください。他の入力デバイスを使用するとき、ポインタの位置決めができなくなることがあります。
一部のソフトウェアで、コントロールパネルでファンクションキーまたはリングキーに設定したものとは異なる機能が実行される。	• ソフトウェアによっては、ファンクションキー、リングキー、Windows ボタンの機能があらかじめ設定されている場合があります。タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使うを参照してください。 • 特定のソフトウェアに対する設定を使用している場合は、目的のソフトウェアに対して設定の更新を行ったかどうか確認してください。

WINDOWS での問題

本機の設定ファイルが壊れている。または、設定ファイルを標準設定の状態にもどしたい。	「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を使用して、ご使用中の設定を削除してください。Windows 8 の「スタート」画面から「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」タイルをクリックします。タブレット設定ファイルの管理を参照してください。 補足： • 最初にタブレット設定のバックアップコピーを取ることをお勧めします。「タブレット設定ファイルユーティリティ」ダイアログボックスで、「バックアップ ...」をクリックし、メッセージに従って操作してください。 • 「タブレット設定ファイルユーティリティ」を使用して、次のようにタブレット設定を削除します。 シングルユーザの場合：「ログインユーザの設定ファイル」で「削除」をクリックして現在のユーザの設定ファイルを削除します。 マルチユーザの場合：「全てのユーザの設定ファイル」で「削除」をクリックしてマルチユーザの設定を削除します。すべてのユーザの設定ファイルを削除するには、管理者権限が必要です。o 最後に現在開いているタブレット用ソフトウェアを再起動してください。 「ログインユーザの設定ファイル」の「復元 ...」をクリックして、バックアップしたタブレット設定を復元できます。設定ファイルのバックアップと復元については、「タブレット設定ファイルの管理」をご覧ください。

テクニカルサポート

本機に問題があり、本書で解決策が見つからない場合、本機の「Read Me」（お読みください）ファイルにお客さまの問題に関する最新情報が記載されている場合があります。ワコムのホームページの FAQ（よくあるご質問と回答）もチェックしてください。

新しいドライバが利用可能な場合は、これをダウンロードすることで解決する場合があります。ソフトウェアアップデートの取得を参照してください。

ホームページにある製品サポートをチェックしてください。こちらで問題が解決する場合があります。

問題が解決されず、本機が正しく動作していないと思われる場合、ワコムサポートセンターにご連絡ください。連絡先についてはホームページ、または本書の「サポート窓口について」に記載しています。

お電話によるサポートを受けられる場合、次の情報をご用意の上お電話ください。

- 本書
- シリアル番号（本体の背面をご覧ください）
- タブレットドライバのバージョン（コントロールパネルの「タブレットについて」をクリックしてください。）
- 本機に付属の周辺機器（該当する場合）
- 問題が発生したとき、使用していたソフトウェアとバージョン
- 画面に表示された正確なエラーメッセージ
- 問題が発生したとき、具体的に何が起こったか、起こったことをどのように処置したか
- どのように問題を解決しようとしたか

また、ワコムのホームページから問合せフォームに記入していただき、サポートセンターにお問い合わせいただくことも可能です。

ソフトウェアアップデートの取得

ワコムでは定期的にタブレットドライバの更新を行い、新製品との互換性を維持しています。機能を最適に使用するためにドライバを定期的に更新することをお勧めします。新しいタブレットドライバ（利用可能な場合）は、ワコムのホームページからダウンロードできます

ワコムデスクトップセンターで「ソフトウェアアップデート」をクリックしてドライバのアップデートがないか確認してください。サポート、その他の製品ドライバ、ソフトウェア更新については、ワコムのホームページからご確認いただけます。http://tablet.wacom.co.jp/download/

よくあるご質問と回答

この章には、本機についてよく寄せられる質問とその回答を記載しています。本書に記載のない質問と回答についてはワコムのホームページをご覧ください。

本機の電子ペンおよびタッチ機能はすべてのアプリケーションで利用できますか ?

本機はすべてのアプリケーションにおける一般的な入力機能に対応しています。筆圧機能および消しゴム機能も多くのグラフィックアプリケーションに対応しています。

多くのソフトウェアがワコム製品の筆圧・消しゴム入力に対応しています。

本機でアプリケーションを使用してみて、電子ペンで描画する際に圧力変化が感知されているかどうか確認してください。

他の製品に付属しているワコムの入力デバイスと一緒に使用できますか ?

通常、電子ペンなどの付属品は、それらが付属している製品でのみ使用できます。詳しくはワコムサポートセンターまでお問い合わせください。

電子ペンと画面のポインタが一致しません。なぜですか ?

「ペン先の位置調整」が必要です。タブレットドライバを再インストールした場合や本機の設定ファイルを削除した場合にはペン先の位置調整を行ってください。ペン先の位置調整を参照してください。

電子ペンとタッチの設定ファイルを標準設定に戻すにはどうすればよいですか？

タブレット設定ファイルの管理を参照してください

すべての電子ペンとタッチ設定ファイルを一度に削除できますか？

はい。タブレット設定ファイルの管理を参照してください。

本機の最適なお手入れのしかたを教えてください。

本機のお手入れを参照してください。

電子ペンのペン芯を交換するにはどうすればよいですか？

ペン芯を交換するを参照してください。

スペアパーツや付属品はどこで入手できますか？

オプション品の注文を参照してください。

型番とシリアル番号はどこで確認できますか？

本体の背面に記載されています。型番は「DTH-」で始まる英数字、シリアル番号は「S/N」以降の英数字となります。また製品パッケージ側面のラベルなどでも確認できます。ワコムサポートセンターに連絡する際、必ず型番とシリアル番号が必要になります。

お手入れのしかた

本章には、本機のお手入れのしかたについてのヒントを記載しています。

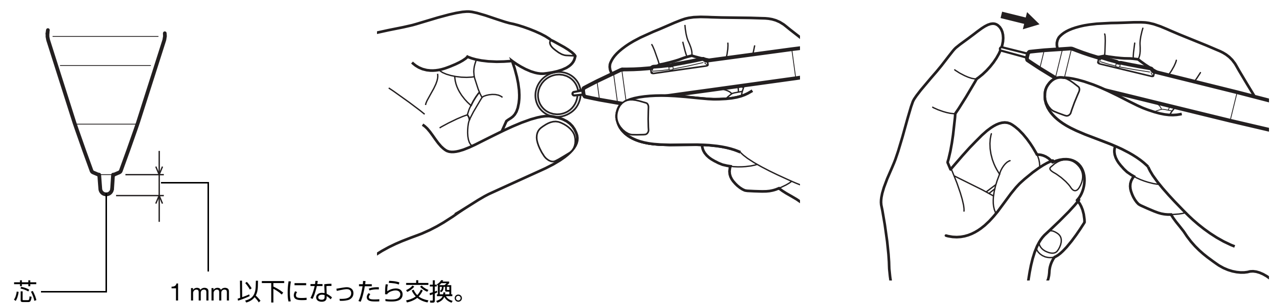
本機のお手入れ

- 電子ペンと本機の画面は清潔にお使いください。ちりや汚れは、画面の表面を傷つけます。定期的に清掃していただくことで、画面と電子ペンを長い期間ご利用いただくことができます。
- 本機と電子ペンは清潔に、涼しい場所で、極端な温度変化を避けて保管してください。また、ペンを保護するため、使用時以外は専用のペンケースに入れておいてください。
- カラーペンリングによる電子ペンのカスタマイズを除き、本機と電子ペンは分解可能な製品ではありません。本機を分解すると、保証が無効になります。
- 本機の電池を取り出したり、修理したり、交換したりしないでください。電池に問題がある場合はワコムサポートセンターまでお問い合わせください。電池残量と操作を参照してください。
- 本機や電子ペンに液体をこぼさないように注意してください。液晶画面やリングキー、ファンクションキー、サイドスイッチ、ペン先には、液体が入ると故障するデリケートな電子部品が入っています。これらを濡らさないように、特に注意してください。
- ペン芯は頻繁に交換して画面に傷がつかないようにしてください。ペン芯が摩耗したり鋭くなると本機が損傷するおそれがあります。ペン芯を交換するを参照してください。
- 本体や電子ペンの清掃をするときは、柔らかい湿らせた布で拭いてください。水で薄めた刺激の少ないせっけんで布を湿らせて使うこともできます。アルコール、シンナー、あるいはベンゼンのような揮発性の液体は、本体を傷めますので使用しないでください。
- 液晶画面の清掃には帯電防止布または軽く湿らせた布をご使用ください。液晶画面を軽く拭う程度にし、表面を濡らさないようにしてください。液晶画面が故障するおそれがありますので、洗剤は使用しないでください。このような故障は保証の対象外となります。

ペン芯を交換する

ペン芯は、使っていく間に磨り減っていきます。本機を保護し最適な性能を得るため、ペン芯は定期的に交換してください。

1. ペン芯を交換するには、芯抜き、ピンセットなどで芯を挟んで、ペンからまっすぐに引き抜きます。
2. 新しいペン芯を同じように挟んでペンの端部に取り付けます。
3. 新しいペン芯を電子ペンにまっすぐにはめ込みます。止まるまでしっかりと押し込んでください。



⚠ 警告

お子様が替え芯やサイドスイッチを飲み込まないようにしてください。電子ペンを口の中に入れると、ペン先やサイドスイッチが抜け落ちてしまう可能性があります。

交換用パーツについてはオプション品の注文を参照してください。

重要：

- 電子ペンを使用しないときは、専用のペンケースに入れるか、机の上に横にして置いてください。
- 電子ペンの感度を維持するため、ペン先や消しゴムが押された状態になるような状態で保管しないでください。ペン先の筆圧センサーが故障するおそれがあります。

その他のお役立ち情報

この章では、次のトピックに関する情報と手順を説明します。

ドライバのアンインストール

本機からタブレットドライバを削除する場合は下記の手順に従ってドライバをアンインストールしてください。

重要：タブレットドライバを削除しても Windows 8 には影響はありません。ただし、本機のタブレットとしての機能は使用できなくなります。本機の機能を復旧するには最新のドライバを再インストールする必要があります。

1. デスクトップ画面の場合は、チャームバーの「設定」アイコンを選択して Windows コントロールパネルを選択します。
2. Windows 8 画面の場合は、画面下部から上の方にスワイプしてタスクバーを表示し、右下隅から「アプリ」を選択します。「アプリ」画面からコントロールパネルを選択してください。
3. 「プログラムのアンインストール」または「プログラムの追加と削除」を選択します。
4. 「ワコムタブレット」を選択して「削除」をクリックします。

アンインストールしてからタブレットドライバを再インストールするには：

1. ワコムデスクトップセンターで「ソフトウェアアップデート」、「ドライバのアップデート」をクリックします。ブラウザでワコムホームページのサポートページが開きます。利用可能な新しいドライバがない場合は、すべてのソフトウェアが最新であることを示すメッセージが表示されます。
2. 「ドライバ」をクリックします。
3. ドロップダウンメニューからタブレットのモデルとオペレーティングシステムを選択します。
4. 「ダウンロード」をクリックします。
5. 「保存」をクリックして、ドライバを本機にコピーします。

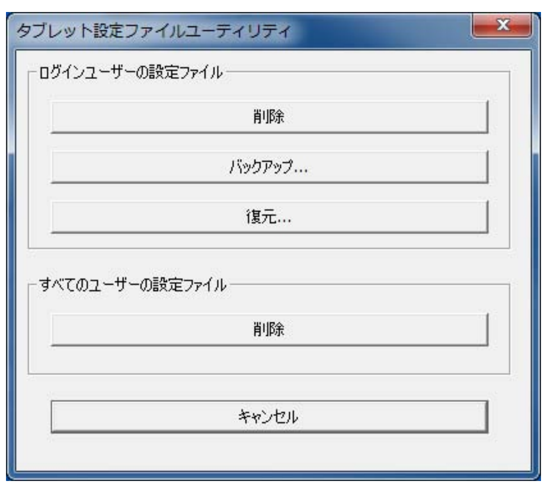
タブレット設定ファイルの管理

ワコムタブレット設定ファイルユーティリティを使用すると、シングルユーザまたはマルチユーザの設定ファイルの管理が行えます。

1. 起動中のソフトウェアをすべて閉じます。
2. Windows 8 の「スタート」画面から「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」タイルをクリックします。Windows 8 の標準デスクトップを使用している場合は、チャームバーの Windows アイコンを選択して「スタート」画面にアクセスしてください。

次のように Windows 8 設定を行います。

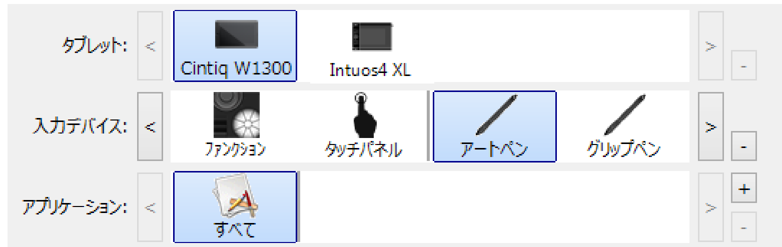
- 表示されるダイアログの内容を確認してから、実行してください。
- 現在の設定ファイルをバックアップするには、「ログインユーザの設定ファイル」から「バックアップ ...」をクリックします。
- 以前にバックアップを行った設定ファイルを復元するには、「ログインユーザの設定ファイル」から「復元 ...」をクリックします。
- ログインユーザの設定ファイルを削除するには、「ログインユーザの設定ファイル」から「削除」ボタンをクリックします。
- マルチユーザの設定ファイルを削除するには、「全てのユーザの設定ファイル」から「削除」をクリックします。補足：すべてのユーザの設定ファイルを削除するには、管理者権限が必要です。
- 最後に現在開いているタブレット用ソフトウェアを再起動してください。



複数ペンタブレットの設置

システムで検出済みのタブレットはコントロールパネルの「タブレット」リストにアイコンで表示されます。

入力デバイスとソフトウェアの設定をカスタマイズするタブレットのアイコンを選択します。接続しているペンタブレットの設定を閲覧または変更することができます。



新しいペンタブレットを追加する場合は、ペンタブレットを本機に接続します。システムが自動でペンタブレットを検出し初期化します。ペンタブレットのアイコンがコントロールパネルに表示されます。

重要：複数のペンタブレットを Windows システムに追加した場合、ソフトウェアによっては、追加したタブレット使用時に消しゴム機能が使用できないことがあります。消しゴム機能は、本機ですでに実行されているアプリケーション上で引き続き利用可能です。

複数登録されているタブレットのうちの 1 つを削除するには、削除するタブレットのアイコンを選択し、「タブレット」リストの隣の [-] ボタンをクリックします。

タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う

ソフトウェアによっては、ペンタブレットのファンクションキーまたはリングキー機能を直接操作するように設計されているものがあります。この処理を組み込んだソフトウェアで作業を行う場合、ファンクションキーまたはリングキーは、コントロールパネルで設定されている機能とは異なる働きをする場合があります。

- ファンクションキーの機能がソフトウェアによって書き換えられた場合、ファンクションキーの設定は自動的に更新され、新しい機能名が付けられるか、あるいは「アプリケーションの設定に従う」と表示されます。ソフトウェアによってはファンクションキーのいくつか、またはすべてがソフトウェアにより書き換えられることがあります。
- ソフトウェアは実行中または画面の最前面にある場合のみ、ファンクションキーやリングキーの機能をコントロールします。そのソフトウェアを終了するか別のソフトウェアのウィンドウを選択すると、コントロールパネルの設定は以前の状態に戻ります。
- 画面の現在の、または選択したソフトウェアでファンクションキー、リングキー、または電子ペンの機能設定を確認するには、ファンクションキーの 1 つに「設定内容の表示」を設定し必要に応じてそのキーを押します。

通常、このような処理を組み込んだソフトウェアでは、そのソフトウェアで最初にワコム製品を使用する際に、この機能を選択しないか無効にすることを選択できます。機能についての具体的な詳細、およびこの機能をカスタマイズする、または無効にする方法についてはソフトウェアに付属の取扱説明書をご覧ください。

ソフトウェア操作時に表示される説明、またはソフトウェアの取扱説明書に、この機能を無効にする方法が記載されていない場合、コントロールパネルを使って、特定のソフトウェアに対する設定を作成し、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアの動作に優先させることができます。タブレット設定ファイルの管理をご覧ください。

重要：特定のソフトウェアに対する設定をタブレットコントロールできる処理を組み込んだアプリケーションで作成した場合、「アプリケーションの設定に従う」をファンクションキーまたはリングキーに設定すると、このアプリケーションによってこれらの機能がコントロールされます。

上級者向け設定を組み込む

XML ファイルで提供される上級者向け設定を、コントロールパネルに組み込むことができる機能です。

ソフトウェアの開発者によっては、ソフトウェアをワコム製品で使用する際に最適なパフォーマンスが得られるよう特別に設計された「カスタム設定ファイル」を作成する場合があります。

XML ファイルには複数のソフトウェアに対するカスタマイズ設定が含まれている場合があります。この設定はファンクションキー、リングキー、ラジアルメニュー、電子ペンのサイドスイッチ、テールスイッチなどに適用できる場合があります。

ワコムのホームページにアクセスして、ご使用の製品で利用可能な各種カスタム設定ファイルをご選択いただけます。

上級者向け設定の組み込み方

1. 特定のソフトウェアで使用する XML ファイル設定を選択してダブルクリックします。
2. 確認ダイアログの指示に従って操作を続けます。
   - ユーティリティにより 1 つまたは複数のソフトウェアの設定がインポートされ、該当するソフトウェアのこれまでの設定は上書きされます。
   - 上級者向け設定を組み込む前に、お使いのコントロールパネルの現在の設定をバックアップしておくことをおすすめします。
   - 設定の組み込みを中止することも、続けることもできます。
3. 設定を組み込むと、XML で記述された設定のみが組み込まれ、対応するすべての設定が更新されます。対応していない設定は更新されません。
4. 設定の組み込みが完了したら、コントロールパネルで新しい設定を確認することが出来ます。

製品情報

本機の機能に対応するソフトウェアや活用方法については、ワコムのホームページをご覧ください。

http://wacom.com/

製品仕様

本機の仕様については、ワコムデスクトップセンターからアクセスできる「製品に関する重要なお知らせ」に記載しています。

サポート窓口について

本製品についてのお問い合わせは、以下のワコムサポートセンターまたはサポートホームページで承ります。消耗品などのご購入には、ワコムストアをご利用ください。

<u>サポート窓口のご案内</u>

インターネット FAQ http://tablet.wacom.co.jp/customercare/	皆様からのお問い合わせの多い内容を FAQ としてワコムのホームページに掲載しております。ぜひ、ご活用ください。左のホームページからアクセスし、「ペンタブレット製品」の「よくあるご質問：FAQ」を選択してください。 インターネット FAQ より解決策が得られない場合、ホームページ上のサポートセンターへのお問い合わせフォームをご利用ください。
FAX によるサポート 03-5337-6514	製品についてのご質問、動作不良についてのご相談に FAX でお答えします。 FAX でのお問い合わせ、修理のご依頼の際には、サポートホームページの「お問い合わせ」をご参照ください。 注意： FAX でいただいたお問い合わせに関しては、弊社営業時間内に回答いたします。お問い合わせの内容によっては、ご返答に数日かかることがありますので、ご了承ください。
電話によるサポート ナビダイヤル 0570-05-6000	タブレットやペンの操作についてのご質問、動作不良についてのご相談に電話でお答えします。 受付時間：平日 9:00 ～ 20:00　土曜日 10:00 ～ 17:00 （日曜、祝日、および年末年始など弊社指定休日を除く） お問い合わせの際は「テクニカルサポート」（← P70 の該当項目リンク）の各項目をご確認のうえ、お電話をいただきますと、状況を把握しやすくなり、より早く問題解決のお手伝いができます。 ナビダイヤルについて： ナビダイヤルは、NTT コミュニケーションズ株式会社のサービスです。ダイヤル Q2 などの有料サービスではありません。 この番号におかけいただいた場合は、電話接続前に通話料金の概算をお知らせするメッセージが流れ、電話料金がいくらかかるか事前にお知らせいたします。 IP 電話および PHS からはご利用いただけません。また NTT 以外の電話会社をお使いの場合は、ナビダイヤルをご利用できないことがあります。下記の番号をご利用ください。 ⇒ TEL03-5337-6701

オプション品の注文

オプション品の情報はワコムホームページに掲載しております。
http://wacom.com/

オプション品は、オンラインショッピングサイト「ワコムストア」でお買い求めいただくことができます。
http://store.wacom.jp/

用語

読取可能範囲：電子ペンが検出される本機の描画エリア。

特定のソフトウェアに対する設定：ソフトウェアごとに電子ペンと本機の設定をカスタマイズします。コントロールパネルを使って、目的のソフトウェアで特別に機能するようにカスタマイズします。特定のソフトウェアに対する設定は、設定したソフトウェアを使用すると必ず実行されます。

クリック圧：クリックする時、ペン先にかかる力の大きさ。

ダブルクリックアシスト：ダブルクリック距離の大きさを設定することにより、ダブルクリックを簡単にする機能。

ダブルクリック距離：ペン先でダブルクリックするときに、2 回目のクリックがずれてもよい距離を画面のドット数で表します。ダブルクリック距離を大きくすると、ペン先でダブルクリックしやすくなりますが、グラフィックソフトウェアによっては、線の引きはじめにポインタがダブルクリック距離の外へ出るまで線が現れないことがあります。

消しゴム対応ソフトウェア：電子ペンの消しゴム機能をサポートしているソフトウェア。
ソフトウェアによっては、テールスイッチ（消しゴム）を別の機能に使うことができます。

ファンクションキー：本機に備えられたカスタマイズ可能な操作キー。ファンクションキーの使い方を参照してください。

ホイール：オプションのエアブラシを操作するホイール。

設定表示ボタン：本機の機能ボタン。ボタンの機能を参照してください。

Windows Journal：紙のメモ帳の電子版で、デジタルノートの特長も備えた Microsoft Windows ソフトウェア。たとえば、簡単に描画や手書きのメモを作成して、テキストに変換した後、デジタルデータとしてほかの人たちに送ることができます。Windows Journal には、電子ペンの消しゴムで動作する消しゴム機能が備えられています。Windows Journal では、手書きのコンテンツも検索できます。

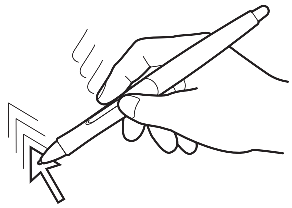
LED：発光ダイオード。本機の表示ランプに使用されています。

修飾キー：[SHIFT]、[ALT]、[CTRL] の修飾キーがあります。電子ペンのサイドスイッチやファンクションキーは、修飾キーに対応するようカスタマイズできます。

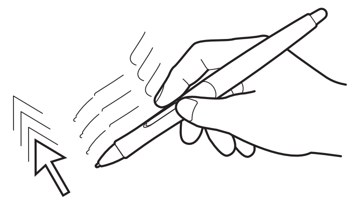
マウスの加速：ペンがマウスモードのとき、ポインタの加速を調節できます。

芯：ペン先で交換が可能な部分。

視差：保護ガラスあるいはその他の媒体を通して対象を見る場合の角度のずれのこと。
ポインタとペン先の位置が合っていない場合は、本機の位置調整を行い、画面上のポインタと電子ペンのペン先の位置を一致させる必要があります。ペン先の位置調整を参照してください。



視差なし。ペン先とポインタの位置が合っている。



画面のガラスによる視差効果。ペン先とポインタの位置が合っていないのが分かる。

ペンモード：ポインタの位置決めの方法。電子ペンを本機の画面の上に置くと、画面のポインタが画面上の対応点にジャンプします。これは絶対的位置決めと言われ、すべてのペンの標準設定です。ペンモードでは、先に画面上でポインタを確認して動かさなくても、ポインタの位置を決められます。

ピクセル：画面上の最小の表示単位。

筆圧対応：筆圧の荷重を読み取るペン先と消しゴムの特性。これは、筆圧対応のソフトウェアで、ペン、ブラシ、消しゴムの自然な感じのストロークを作成するのに使用されます。

筆圧対応ソフトウェア：筆圧をサポートするソフトウェア。

読取可能高さ：電子ペンが検出される本機の読取可能範囲からの高さ。
電子ペンの機能もご覧ください。

ラジアルメニュー：円型の階層メニュー。各階層のメニューは 8 つの項目から構成され、オプション機能を設定できます。メニューを表示するために、電子ペンやファンクションキーに機能を割り当てる必要があります。

画面のポインタ：画面のポインタ。ポインタは、起動しているソフトウェアにより、I 型ポインタ、矢印、あるいはボックスなど様々な形に変わります。

Tablet PC 入力パネル：Microsoft Windows Tablet PC 入力パネルで、電子ペンを使って手書きメモを作成したり、画面上のキーボードを使って文字入力を行うことができます。手書き文字が、入力パネルでテキストに変換されます。Tablet PC 入力パネルから入力した文字を文書や表計算、イラストに挿入できます。

傾き検出：入力デバイスが傾く角度を読み取るペン先とテールスイッチ（消しゴム）の特性。これは、傾き検出対応のソフトウェアで、ペン、ブラシ、消しゴムの自然な感じのストロークを作成するのに使用されます。

USB：Universal Serial Bus。コンピュータの追加装置を接続するためのハードウェアインタフェース規格。

Wintab：タブレットの情報を受け取る Windows ソフトウェアによって使用されるインタフェース規格。本機は、Windows 環境で Wintab と互換性のあるソフトウェアをすべてサポートします。

索引